

# 地方部における観光コンテンツの充実のための ローカルガイド人材の持続的な確保・育成事業

## 実態調査報告書

# 目次

---

1. 調査概要	2
2. 調査結果	
(1) 調査・分析結果のまとめ	5
(2) 調査・分析結果	6
3. 【参考】単純集計結果	21

# 令和7年度「地方部における観光コンテンツの充実のためのローカルガイド人材の持続的な確保・育成事業」の実証地域8地域にてアンケート調査を実施

## 調査概要

### 実施概要

対象者	対象地域に所在するローカルガイドおよびローカルガイドとしての活動を希望する者
対象地域	令和7年度 地方部における観光コンテンツの充実のためのローカルガイド人材の持続的な確保・育成事業における実証地域のうち以下8地域 北海道札幌市・北海道釧路市ほか・石川県金沢市・山梨県富士河口湖町ほか・奈良県奈良市・奈良県明日香村・広島県広島市・沖縄県石垣市
設問数	38問
回答期間	2025年12月4日(木)～2026年1月11日(日)
回答人数	289人

# ガイドとしての活動状況や今後希望する稼働形態等に関する設問計38問を設定(1/2)

## アンケート調査票

#	質問	回答者	
1	年代	全員	
2	性別		
3	居住地		
4	通訳案内士資格の取得状況について教えてください。		
5	通訳案内士以外にガイド業に関連する資格を持っていますか。		
6	ガイドとしての対応言語について教えてください。		
7	ガイドとして活動を開始しようとしたきっかけや動機を教えてください。		
8	現在のガイドとしての活動頻度について教えてください。		
9	ガイドとして活動していない理由を教えてください。	Q8で「ガイドとしての活動経験がない」を選択した人	
10	ガイドとしての活動歴を教えてください。	Q8で「ガイドとしての活動経験がない」以外を選択した人	
11	ガイドとしての活動範囲について教えてください。		
12	1回の稼働あたりの所要時間(ツアーを催行している時間)の目安を教えてください。		
13	現在の生活におけるガイド業の位置づけを教えてください。		
14	ガイド以外に仕事をしていますか？		
15	ガイドとしての直近の年収を教えてください。		
16	現在ご自身がガイドをされる際の時給を教えてください。 ※時給換算でない場合、1ツアー催行あたりの金額を稼働時間で割り戻した金額をお答えください		
17	交通費が支給される場合(自己負担でない場合)、ご自宅からどのくらいの範囲でガイドを行っていますか。		
18	本事業でガイドとして応募された理由を教えてください。		全員
19	本事業におけるガイド実施に向けた支援・フォローの中でよかったこと(ガイド実践に役立ったこと)を教えてください。		
20	本事業におけるガイド実施に向けた支援・フォローとしてあればよかったことがあれば教えてください。		

# ガイドとしての活動状況や今後希望する稼働形態等に関する設問計38問を設定(2/2)

## アンケート調査票

#	質問	回答者
21	今後のガイドとしての活動意向を教えてください。	全員
22	活動意向がない理由を教えてください	Q21で「ガイドとしての活動意向はない」と回答した人
23	今後の活動頻度・収入に関する希望と一致するものを選択してください。	Q21で「ガイドとしての活動意向はある」と回答した人
24	ガイドとしての理想的な活動頻度を教えてください。	
25	1回の稼働あたりの理想的な所要時間(ツアーを催行している時間)を教えてください。	
26	生活におけるガイド業の理想的な位置づけを教えてください。	
27	ガイド業における理想の年収を教えてください。	
28	ご自身がガイドをする際に適切な時給はいくらだと思いますか。	
29	交通費が支給される場合(自己負担でない場合)、ガイドを引き受けようと思えるご自宅からの範囲はどの程度ですか。	
30	今後目指す活動範囲について最も近いものを選択ください。	
31	ガイドをするにあたり不安なことは何ですか。	全員
32	Q30で選択いただいたもののうち、最も不安なことは何ですか。	
33	その他、ガイドをサポートする機能や体制、制度などあったらよいと思うものがあれば教えてください。	
34	ご自身がガイドをする際、どのような体制を希望されますか。	Q21で「ガイドとしての活動意向はある」と回答した人
35	ご自身が商品(ツアー)造成・営業・催行等全て自分で実施する場合の流入経路を教えてください。	Q8で「ガイドとしての活動経験がない」以外を選択しており、Q34で「商品(ツアー)造成・営業・催行等全て自分で実施」と回答した人
36	新規受託先となる体験事業者を探される場合に用いる手段を教えてください	Q8で「ガイドとしての活動経験がない」以外を選択しており、Q34で「商品(ツアー)造成等を担う事業者から都度受託し実施」と回答した人
37	観光事業者(サプライヤー)とマッチングされる時に重要なことは何ですか。	Q34で「商品(ツアー)造成等を担う事業者から都度受託し実施」と回答した人
38	今後目指すガイド像を教えてください。	Q21で「ガイドとしての活動意向はある」と回答した人

# 調査結果概要

## 本調査を通じて明らかになった事項

### ガイド人材の 属性

- ✓ 若年層は無資格かつガイド未経験の層が多くを占める一方、中高齢者層は通訳案内士資格保有者や稼働経験者が一定数存在する

### ガイド活動 実態

- ✓ 資格の有無にかかわらず、多くの人がガイド業を副収入や不定期収入と捉えている一方で、1回あたりの稼働時間・時給・年収といった具体的な働き方の希望には資格有無による明確な差異が認められる。特に無資格者は短時間就労や扶養内就労を志向し、有資格者は長時間労働や高めの年収を志向する傾向

### 収入の実態と 理想

- ✓ 無資格者の中には年収103万円以下で稼働し、希望年収も同水準に抑えている者が多いことから、扶養の範囲内での就労を柔軟に望む層が一定数存在すると推察

### 理想の働き方

- ✓ 就労形態に関しては、無資格者の中にはツアーの企画から催行まで一貫して自身で担いたい意向を持つ層が一定数存在する一方、有資格者は主に事業者からの都度受託形態を望む傾向

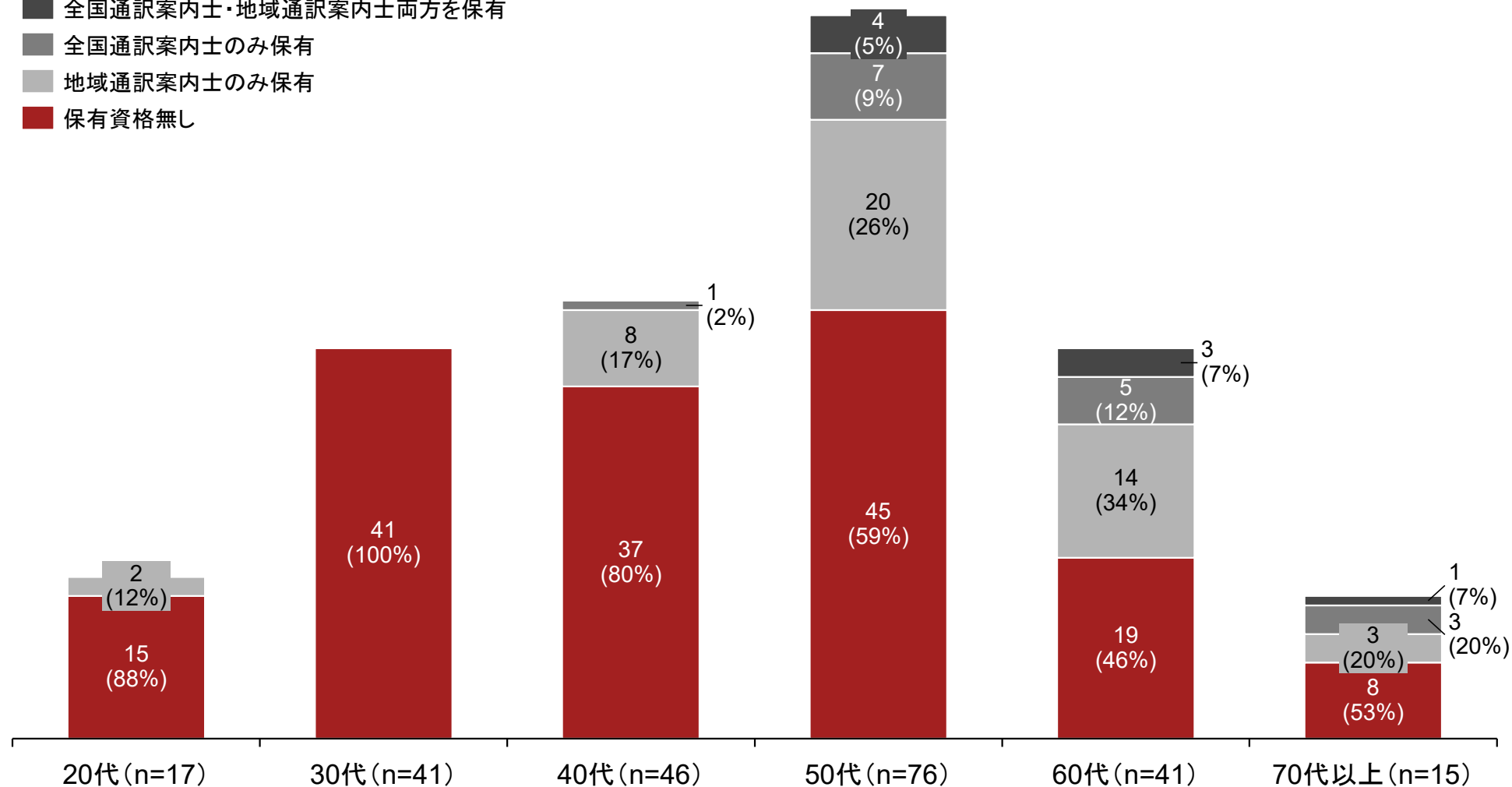
### ガイド活動の 不安

- ✓ 資格の有無にかかわらず、ガイド活動にあたっての不安としては知識・語学力・経験値の不足が中心であり、ガイド支援としてはこれらに対応した研修や教材配布・イベント実施のニーズが高い
- ✓ 交流機会や稼働機会獲得に向けた支援のニーズは有資格者の方がやや高い傾向

# 通訳案内士資格を有さない無資格者は20代～40代の若年層が中心

## 資格保有状況

- 全国通訳案内士・地域通訳案内士両方を保有
- 全国通訳案内士のみ保有
- 地域通訳案内士のみ保有
- 保有資格無し

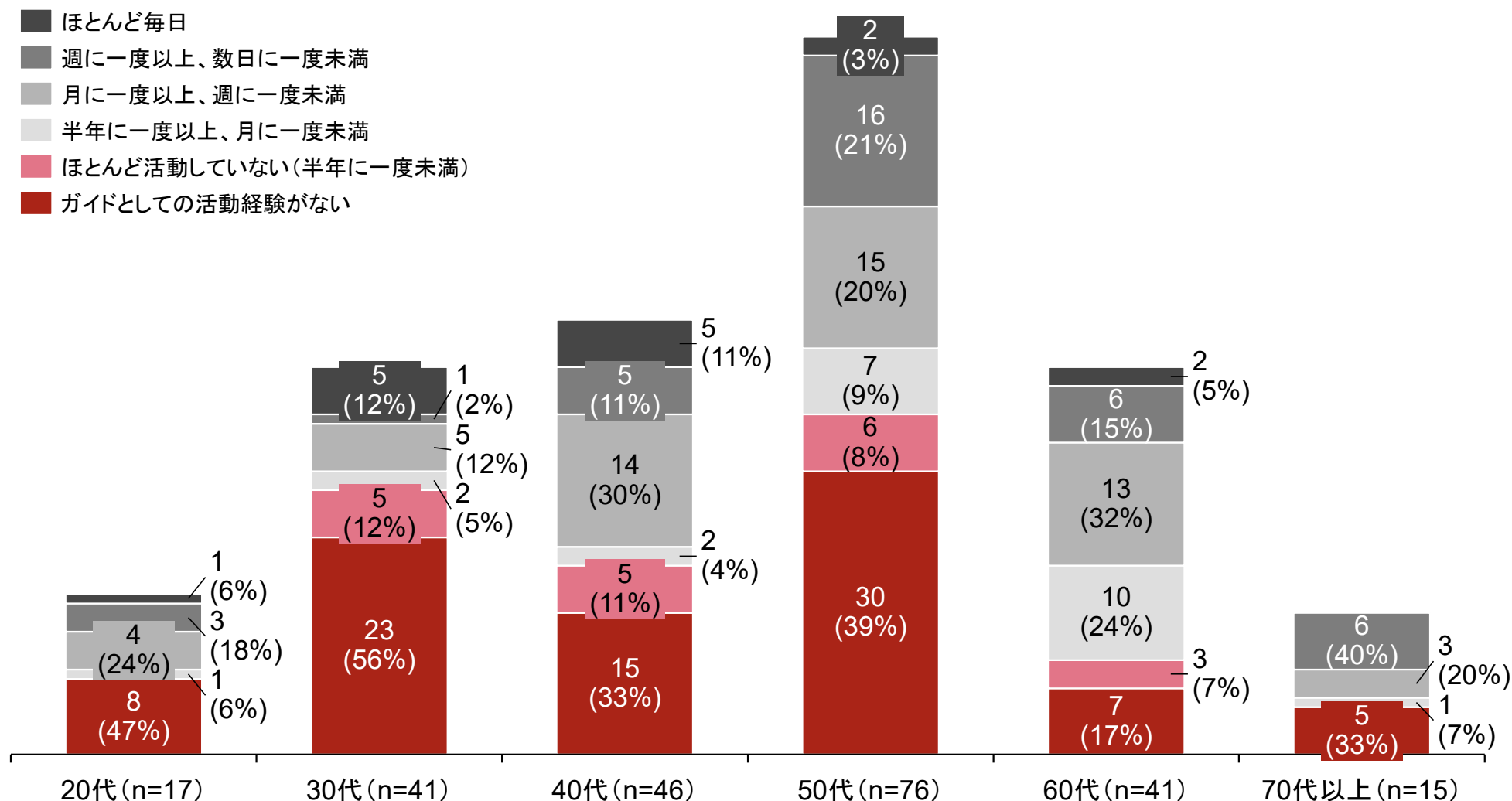


Q1: 年代

Q4: 通訳案内士資格の取得状況について教えてください。

# 若年層を中心にガイド未経験者が多く、60代以上の高齢者層では一定数を稼働経験者が占める

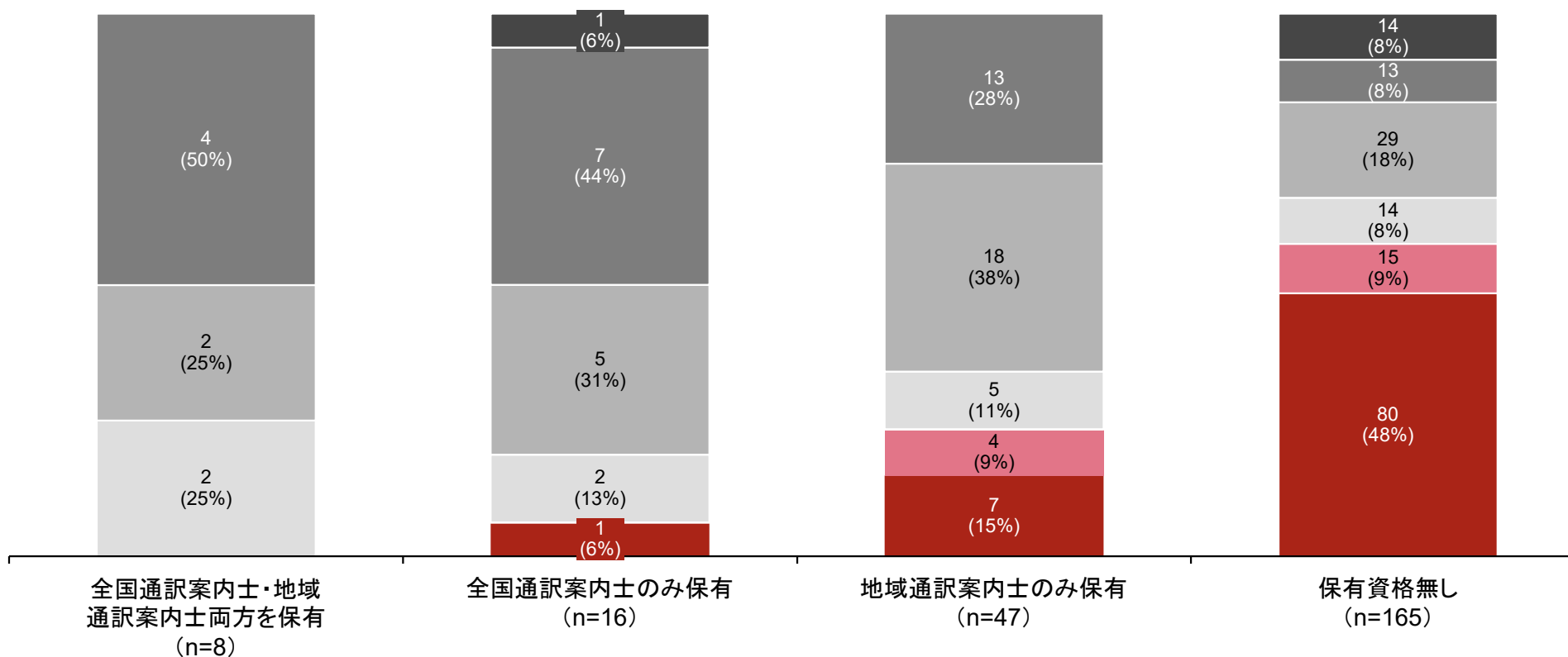
## 年齢層ごとのガイド稼働経験・頻度



Q1: 年代  
Q8: 現在のガイドとしての活動頻度について教えてください。

# 通訳案内士資格保有者の中にもガイドとしての活動経験がない・ほとんど活動していないと回答した人が一定存在

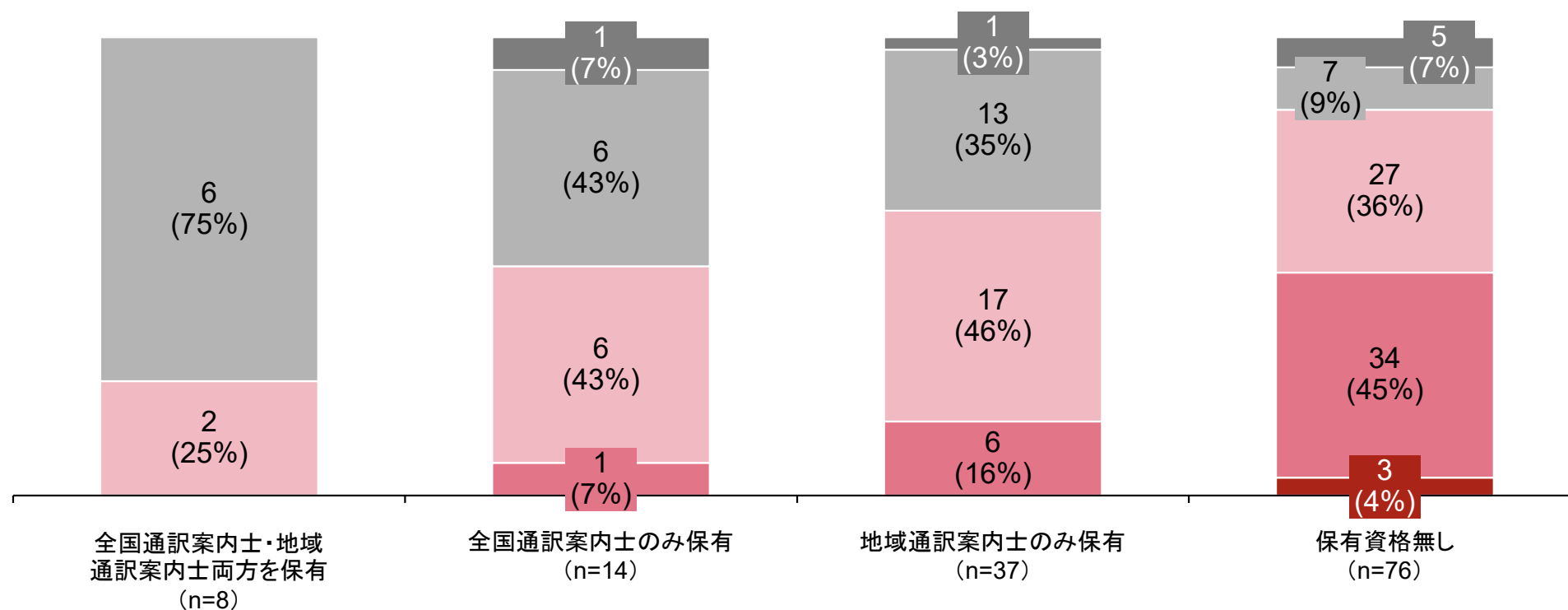
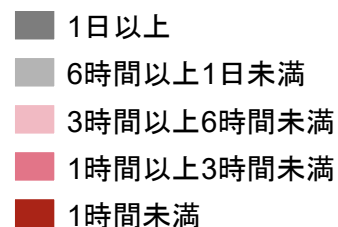
## 保有資格ごとのガイド稼働経験・頻度



Q4：通訳案内士資格の取得状況について教えてください。  
 Q8：現在のガイドとしての活動頻度について教えてください。

# 有資格者は半日以上のツアーを中心に催行している一方、無資格者は数時間程度の短めのツアー催行が中心

## 1回の稼働あたりのツアー催行時間



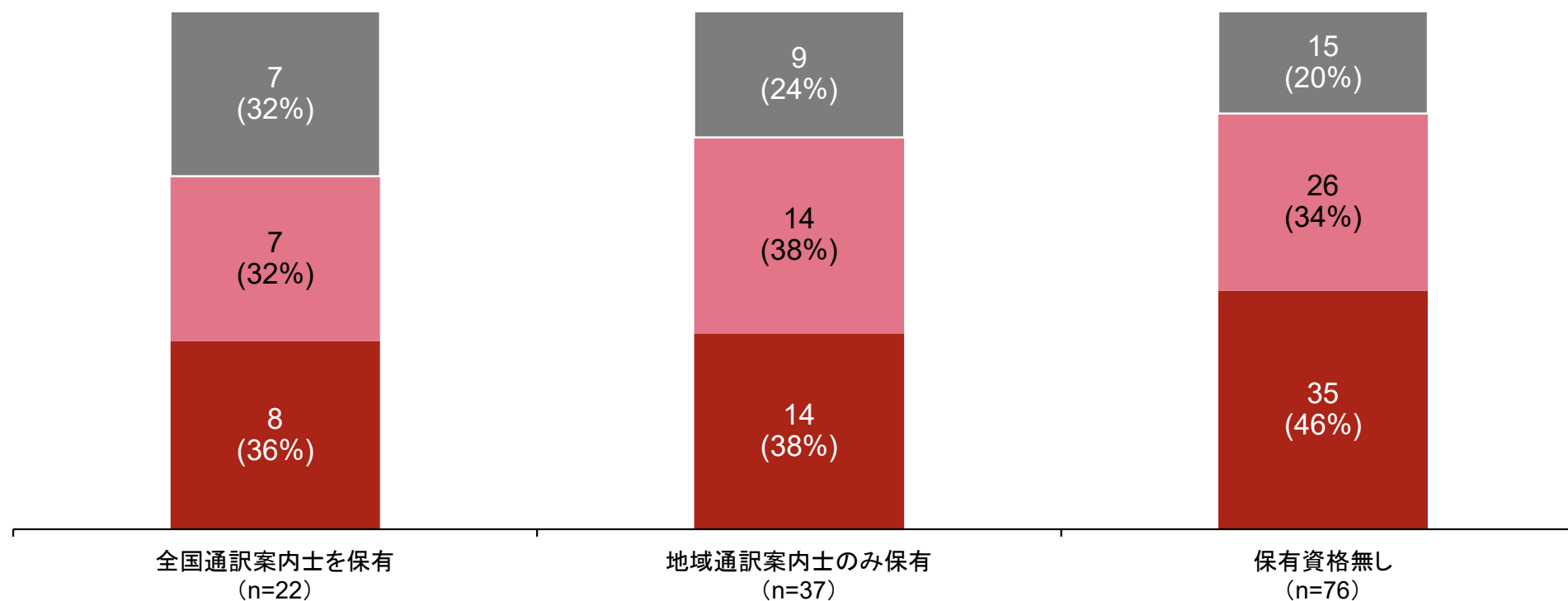
Q4：通訳案内士資格の取得状況について教えてください。

Q12：1回の稼働あたりの所要時間（ツアーを催行している時間）の目安を教えてください。

# 全国通訳案内士でガイド業が本業の方は約3分の1存在するが、 地域通訳案内士や無資格者は副業としてとらえる方が約8割

## ガイド収入の位置づけ

- ガイド業で主たる収入を得ている
- ガイド業は副収入である(他に主たる収入を得る仕事がある)
- 不定期で活動(定期収入としての位置づけでない)



Q4：通訳案内士資格の取得状況について教えてください。  
Q13：現在の生活におけるガイド業の位置づけを教えてください。

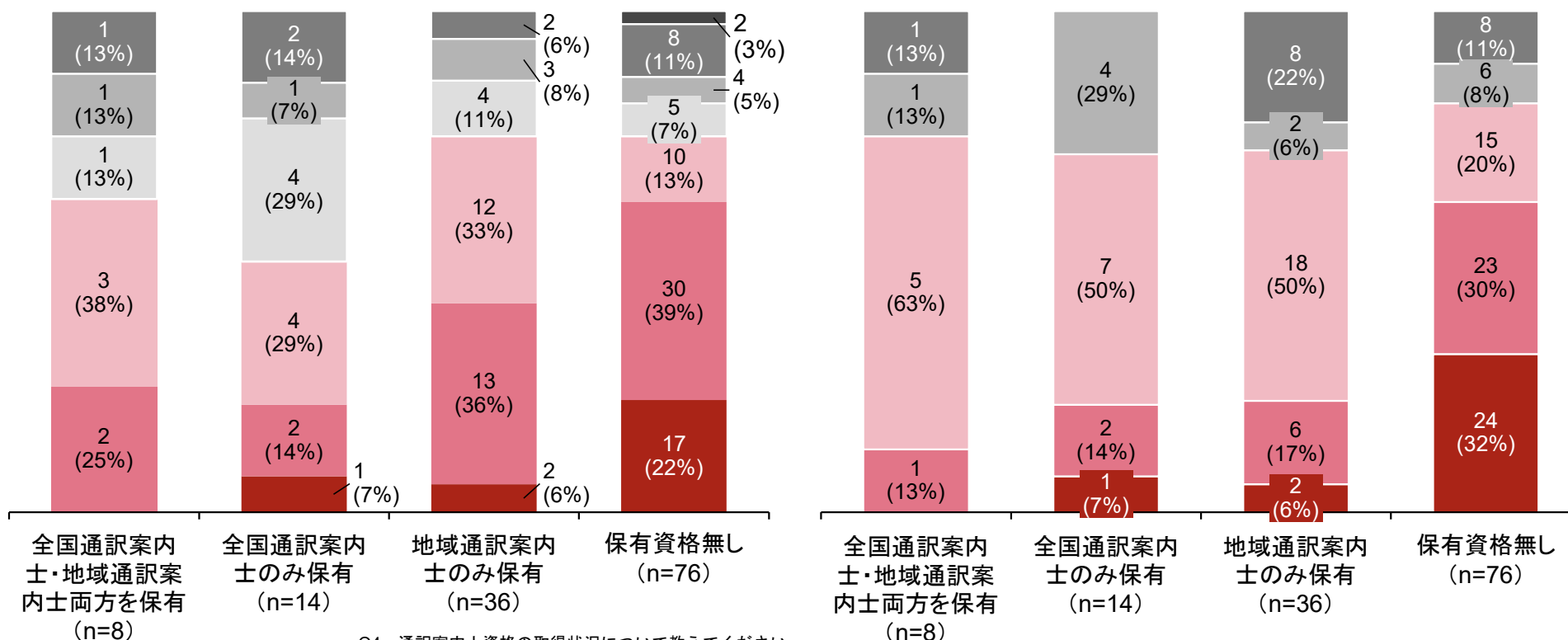
高収入のガイド割合は有資格者が無資格者に対しやや高い傾向にあるものの、いずれも半数以上が103万円以内の扶養内で就労し、ガイド全体の収入は低い傾向にある

ガイドとしての収入

ガイドとしての年収



ガイドとしての時給

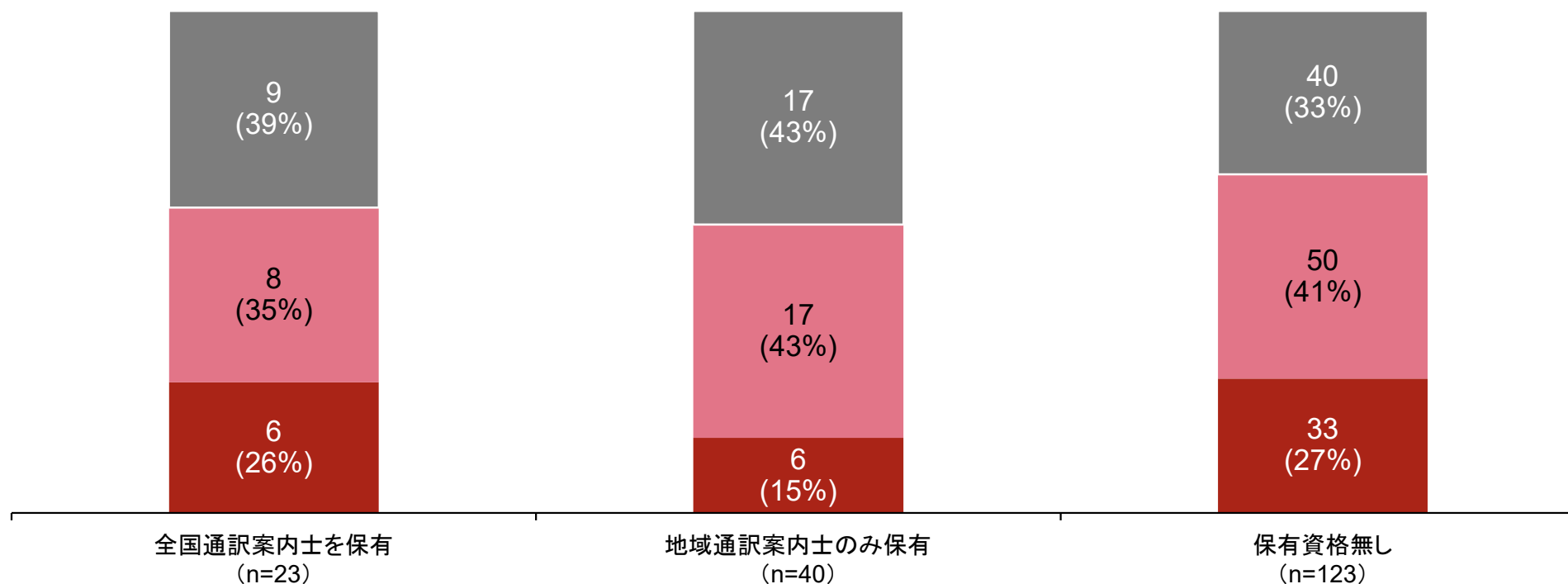


Q4: 通訳案内士資格の取得状況について教えてください。  
 Q15: ガイドとしての直近の年収を教えてください。  
 Q16: 現在ご自身がガイドをされる際の時給を教えてください。 ※時給換算でない場合、1ツアー催行あたりの金額を稼働時間で割り戻した金額をお答えください

# 理想的なガイド業の位置づけとしても、資格有無にかかわらず6割程度が副収入・不定期収入を希望する傾向

## 理想的なガイド業の位置づけ

- ガイド業で主たる収入を得る
- ガイド業は副収入とする(他に主たる収入を得る仕事がある)
- 不定期で活動(定期収入としての位置づけでない)



Q4：通訳案内士資格の取得状況について教えてください。  
Q26：生活におけるガイド業の理想的な位置づけを教えてください。

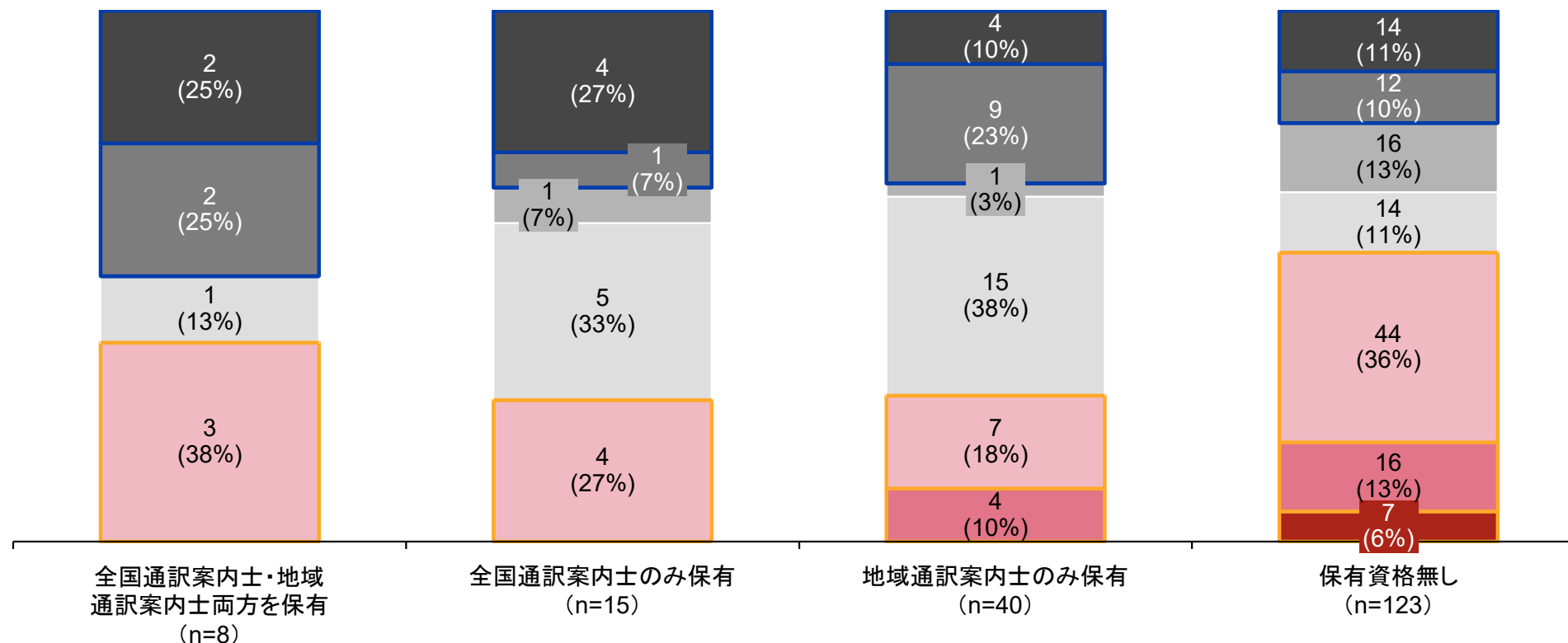
無資格者の約半数が103万円未満と扶養内での就労を希望する一方、有資格者は300万円以上を3割以上が希望するなど、相対的にやや高い傾向にある

### 理想的なガイド年収



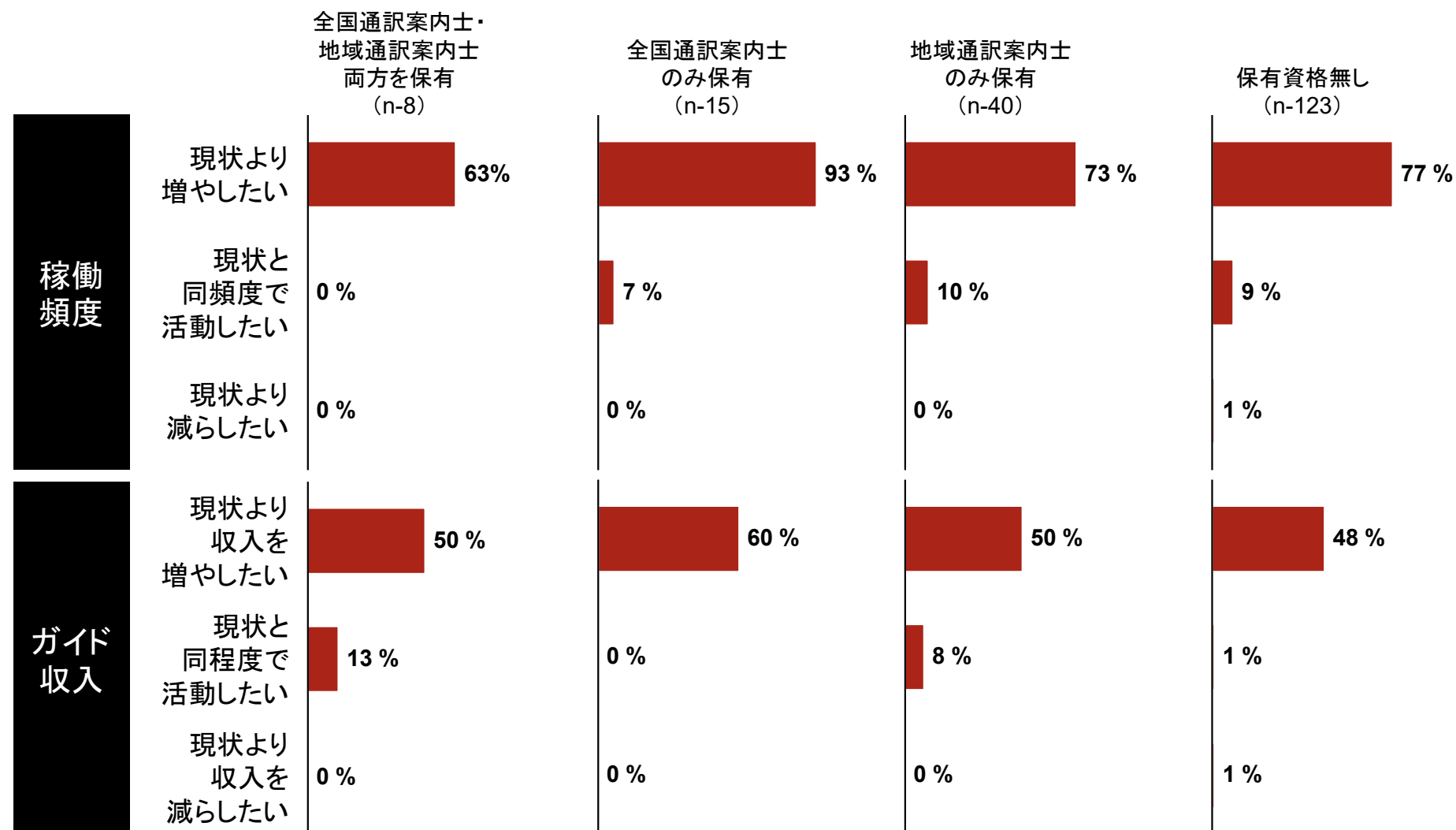
300万円以上の収入を理想とする層

103万円未満の収入を理想とする層



# 資格有無にかかわらず、現状より稼働頻度・収入を増やしたいとの意欲が見られる

## 理想的な活動頻度・収入



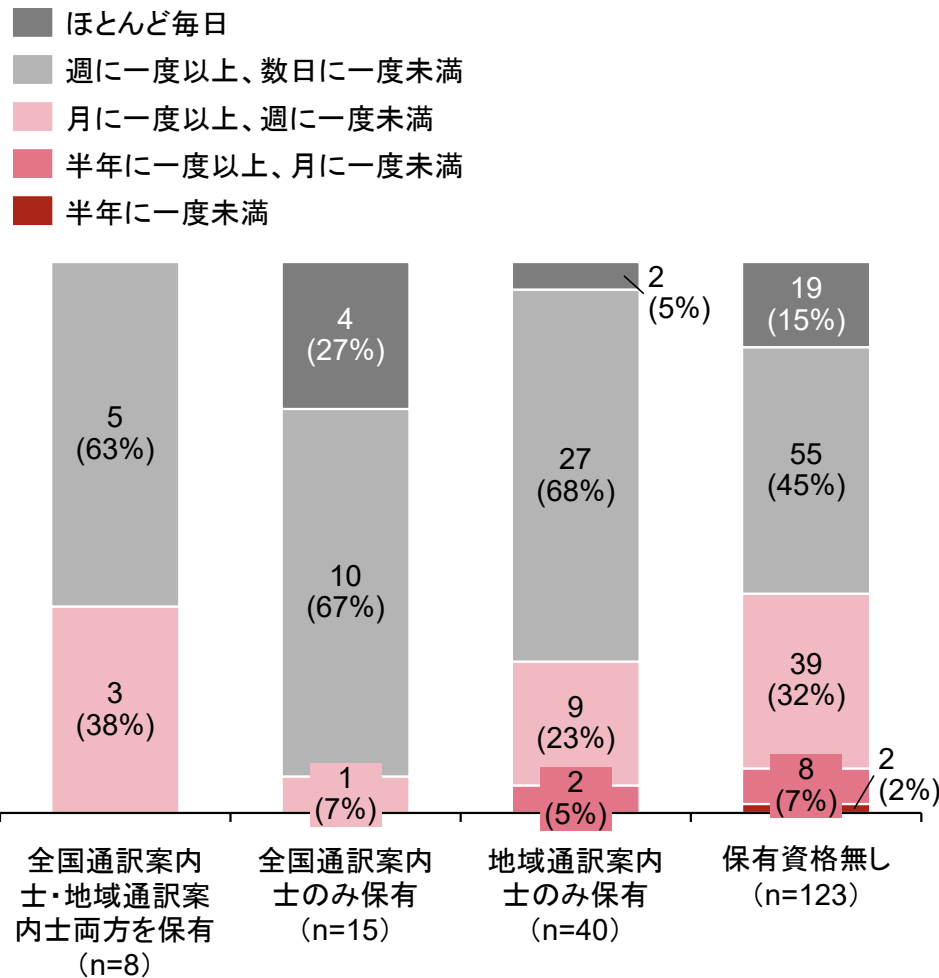
Q4：通訳案内士資格の取得状況について教えてください。

Q23：今後の活動頻度・収入に関する希望と一致するものを選択してください。

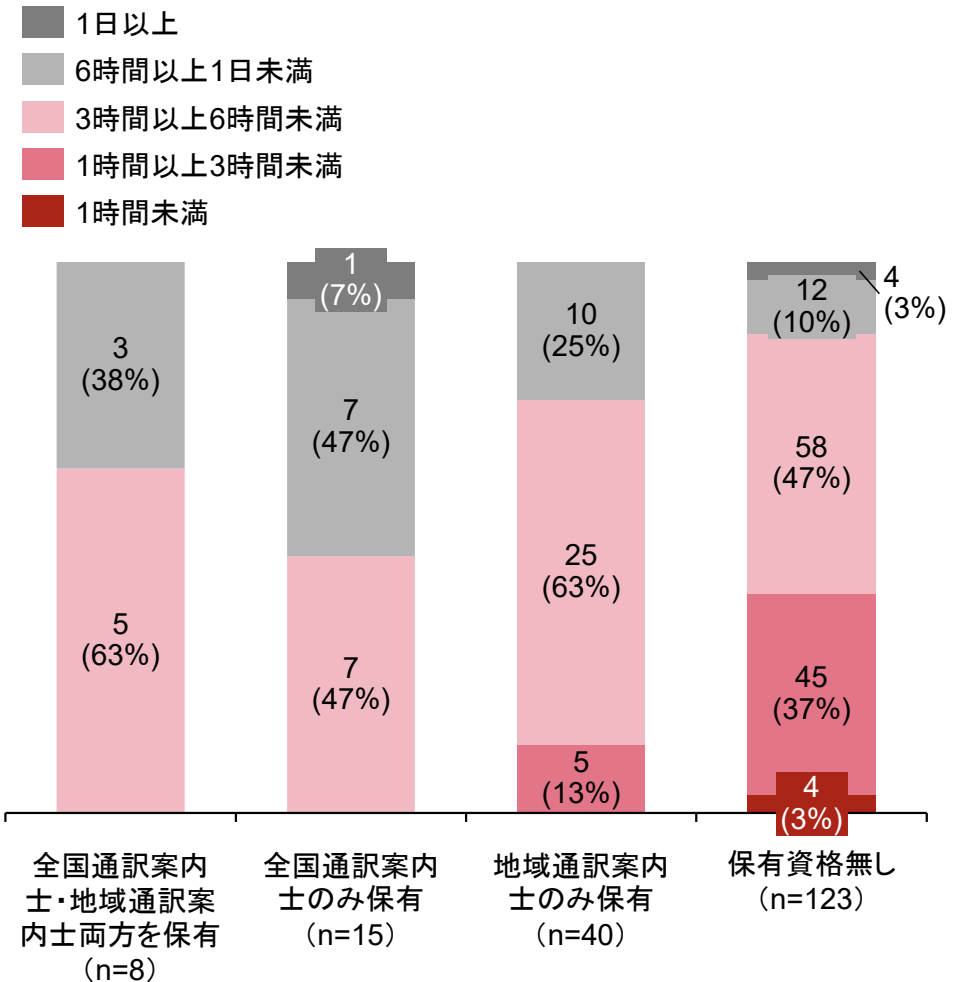
理想とする活動頻度に大きな差は見られないが、1回あたりの稼働時間としては、無資格者が有資格者に比べ相対的に短時間の就労を希望する傾向にある

理想的な活動頻度・時間

理想的な活動頻度



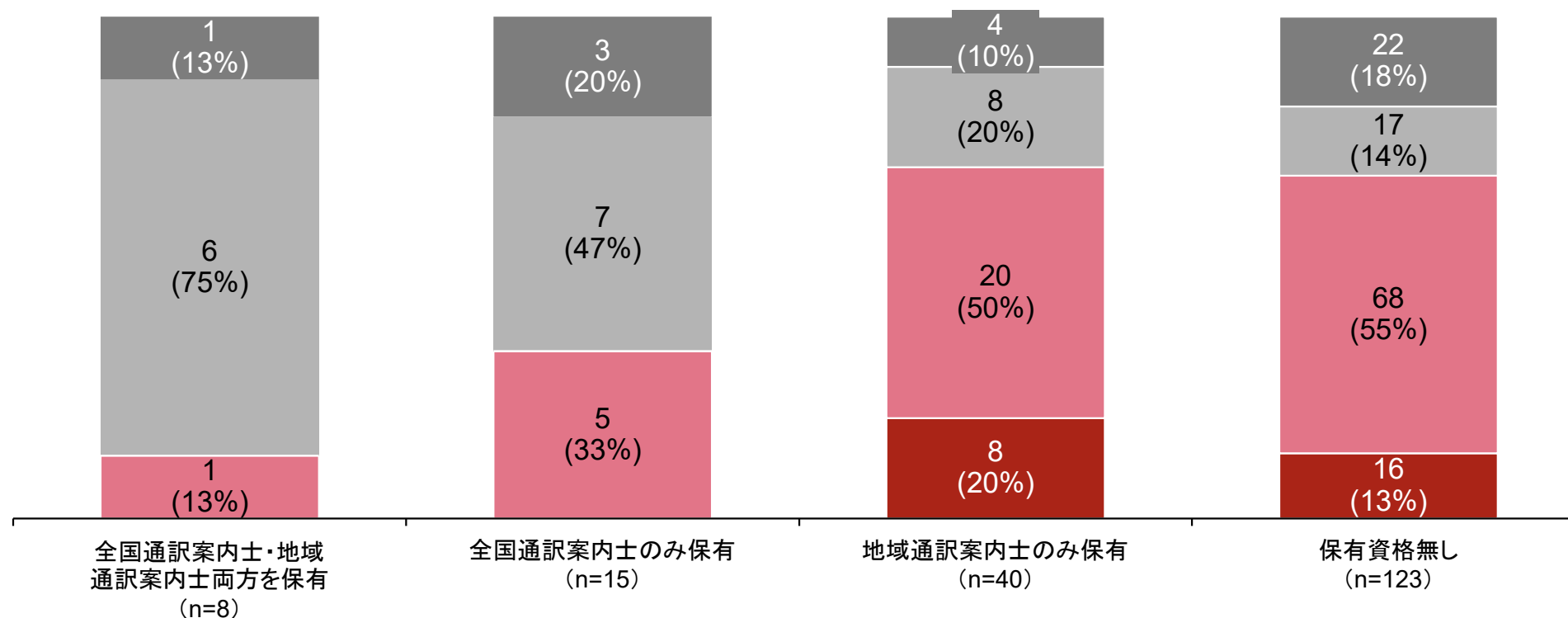
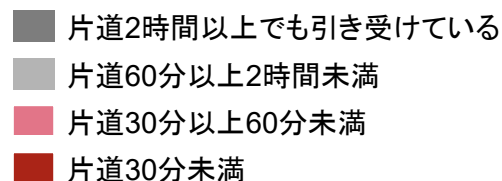
理想的な1回あたりの稼働時間



Q4：通訳案内士資格の取得状況について教えてください。  
 Q24：ガイドとしての理想的な活動頻度を教えてください。  
 Q25：1回の稼働あたりの理想的な所要時間（ツアーを催行している時間）を教えてください。

## 地域通訳案内士資格のみの保有者や無資格者は全国通訳案内士資格保有者に比べ、相対的に狭い範囲での稼働を希望する傾向にある

### 理想的な活動範囲



Q4：通訳案内士資格の取得状況について教えてください。

Q29：交通費が支給される場合（自己負担でない場合）、ガイドを引き受けようと思えるご自宅からの範囲はどの程度ですか。

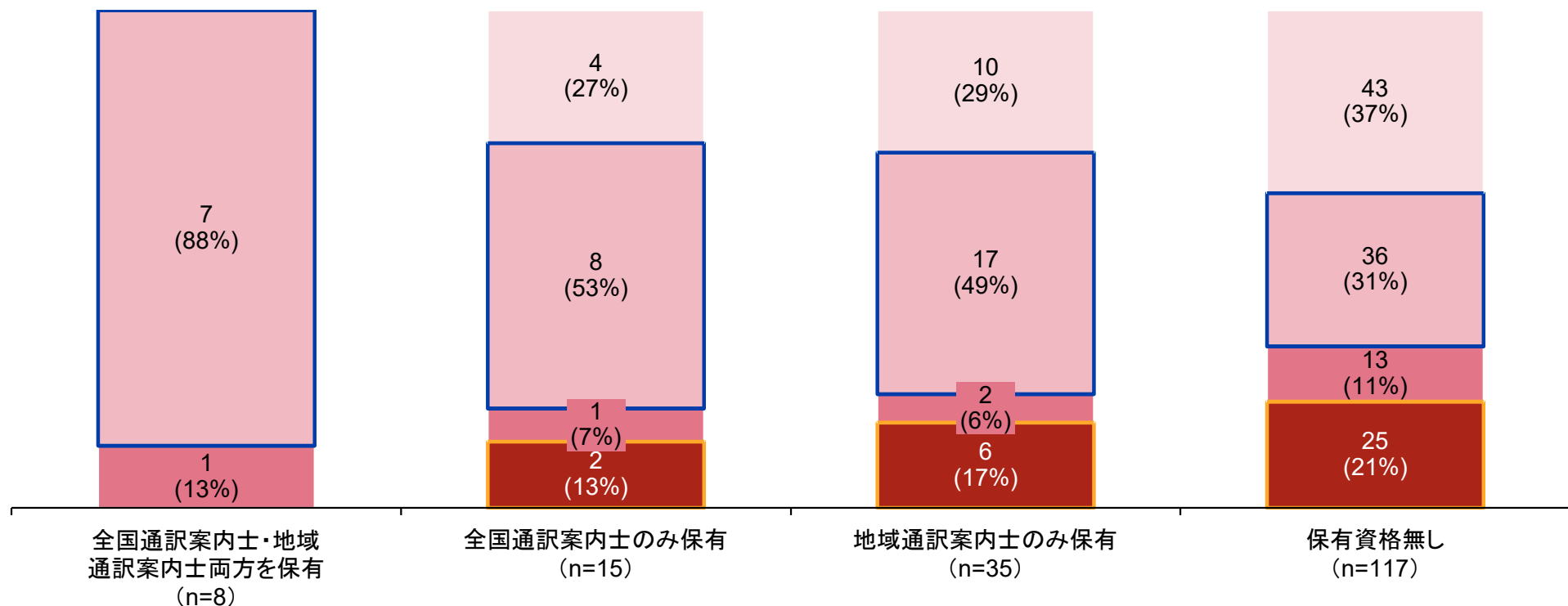
有資格者は事業者から都度受託する就労形態を希望する一方、無資格者は商品造成・営業・催行等を一貫して自身で担うことを希望する層が多い

### 理想の就労形態

- 経験が浅いうちは②又は③が望ましいが将来的には①に移行したい
- 商品(ツアー)造成等を担う事業者から都度受託し実施(③)
- 商品(ツアー)造成等を担う事業者に雇用されて実施(②)
- 商品(ツアー)造成・営業・催行等全て自分で実施(①)

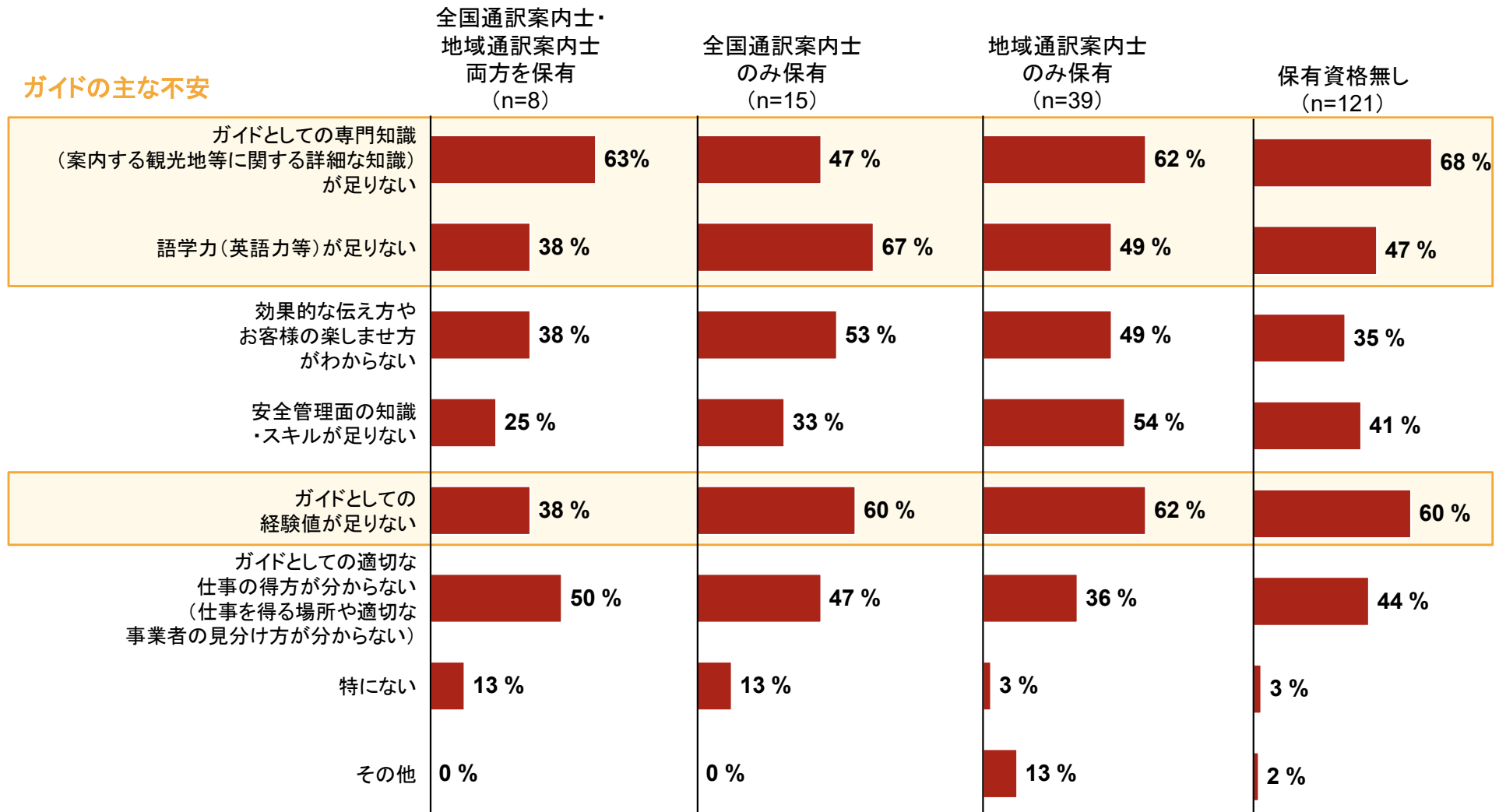
事業者から都度受託する就労形態を希望する層

造成・営業・催行等を自身で担うことを希望する層



# ガイドの主な不安は、資格有無にかかわらず、知識・語学力・経験値の不足が中心

## ガイドに対する不安



Q4：通訳案内士資格の取得状況について教えてください。  
Q31：ガイドをするにあたり不安なことは何ですか。(複数選択可)

# 知識面や実践での研修、交流機会や稼働機会の獲得に向けた支援のニーズが高く、後者の支援ニーズは有資格者が無資格者と比べてやや高い傾向(1/2)

## あってよかった支援

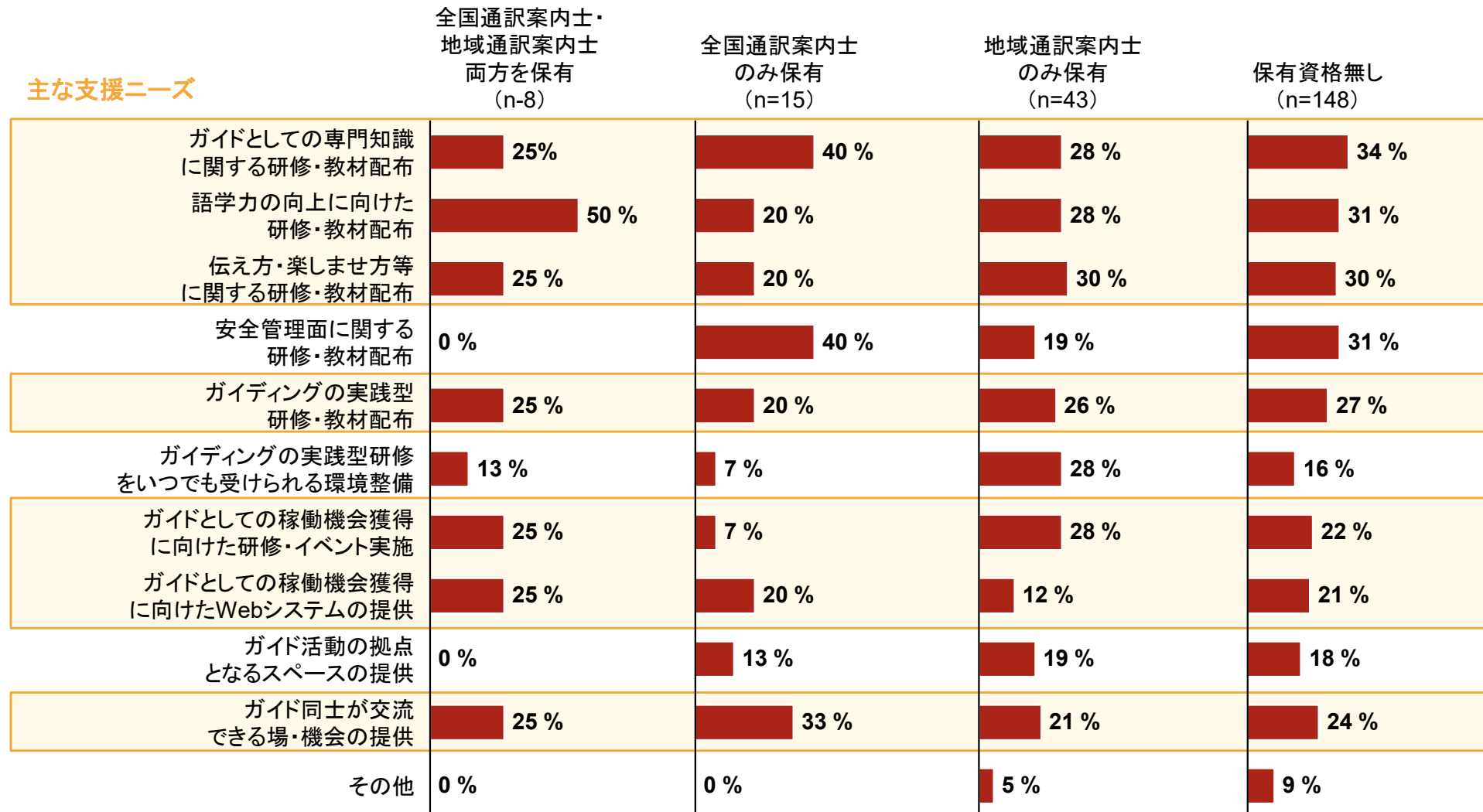
主な支援ニーズ	全国通訳案内士・ 地域通訳案内士 両方を保有 (n=8)	全国通訳案内士 のみ保有 (n=15)	地域通訳案内士 のみ保有 (n=43)	保有資格無し (n=148)
ガイドとしての専門知識に関する研修・教材配布	75%	40%	49%	66%
語学力の向上に向けた研修・教材配布	13%	0%	5%	13%
伝え方・楽しませ方等に関する研修・教材配布	50%	53%	77%	53%
安全管理面に関する研修・教材配布	0%	7%	14%	17%
ガイディングの実践型研修・教材配布	38%	60%	42%	39%
ガイディングの実践型研修をいつでも受けられる環境整備	38%	0%	21%	13%
ガイドとしての稼働機会獲得に向けた研修・イベント実施	50%	20%	33%	24%
ガイドとしての稼働機会獲得に向けたWebシステムの提供	0%	0%	14%	12%
ガイド活動の拠点となるスペースの提供	0%	7%	7%	12%
ガイド同士が交流できる場・機会の提供	38%	53%	65%	41%
その他	0%	0	2%	7%

Q4：通訳案内士資格の取得状況について教えてください。

Q19：本事業におけるガイド実施に向けた支援・フォローの中でよかったこと（ガイド実践に役立ったこと）を教えてください。（複数選択可）

# 知識面や実践での研修、交流機会や稼働機会の獲得に向けた支援のニーズが高く、後者の支援ニーズは有資格者が無資格者と比べてやや高い傾向(2/2)

## 必要な支援



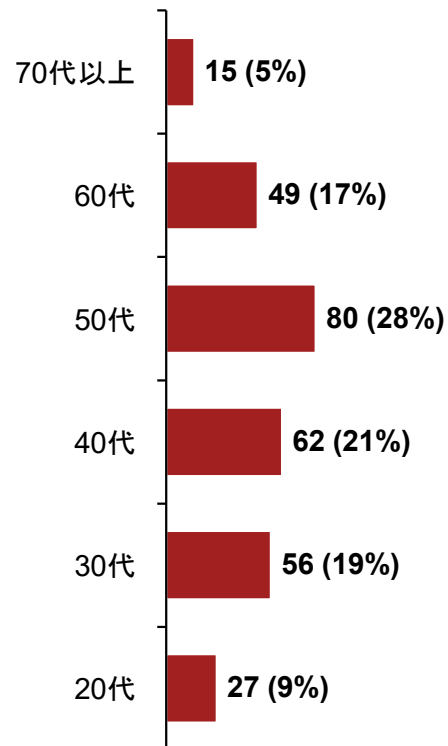
Q4：通訳案内士資格の取得状況について教えてください。

Q20：本事業におけるガイド実施に向けた支援・フォローとしてあればよかったことがあれば教えてください。  
(複数選択可)

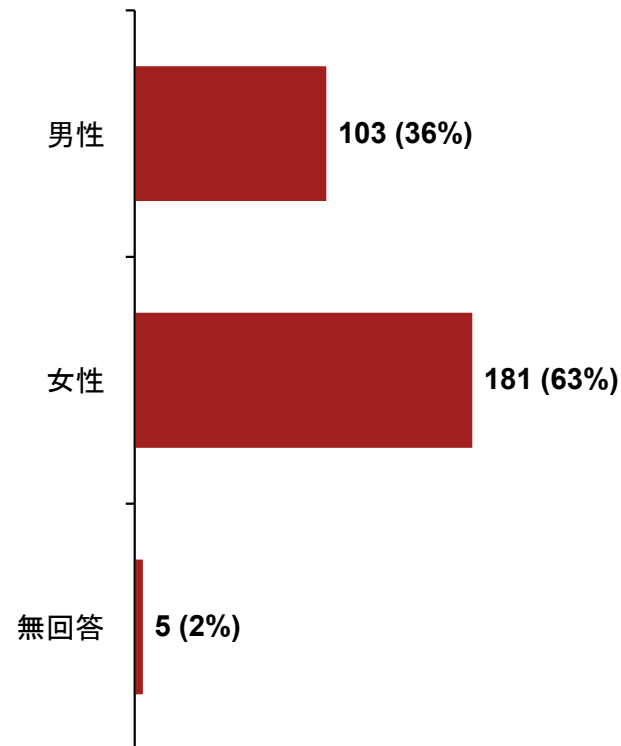
## 年代、性別、居住地

- 年代のボリュームゾーンは50代であり、約28%を占めている
- 性別は女性の方が多く、約63%を占めている
- 居住地は対象地域内に住んでいる人が約61%を占めている

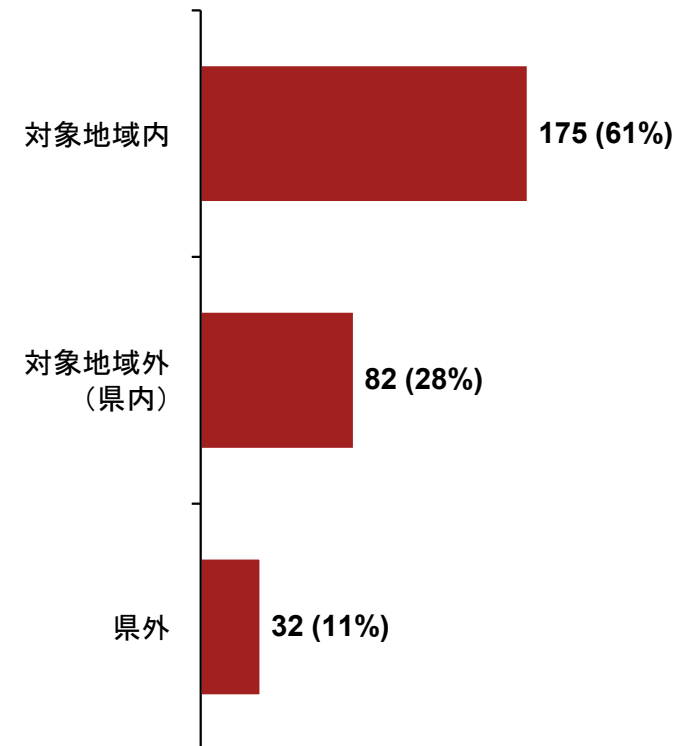
Q1: 年代を教えてください。  
(母数:n=289、単一選択)



Q2: 性別を教えてください。  
(母数:n=289、単一選択)



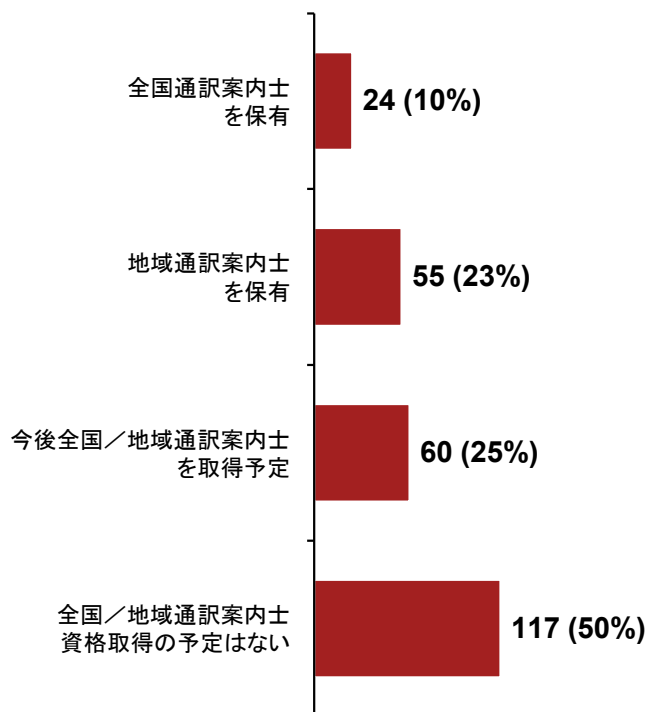
Q3: 居住地を教えてください。  
(母数:n=289、単一選択)



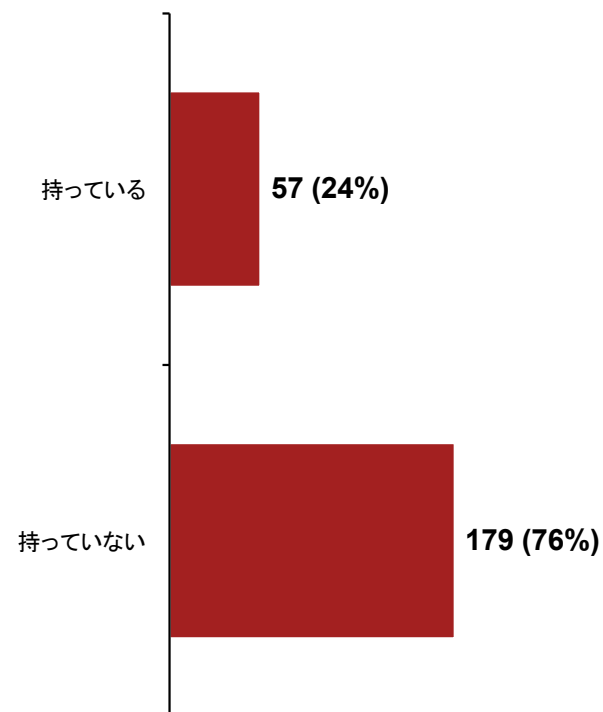
# 通訳案内士資格の取得状況、ガイド業に関連する資格、ガイドとしての対応言語

- 約半数の人が全国／地域通訳案内士資格ともに有さず、取得の予定もないと回答
- 通訳案内士の資格以外にガイド業に関する資格を持っている人は全体の24%程度である
- 約75%の人が日本語、約81%の人が英語でのガイドに対応している

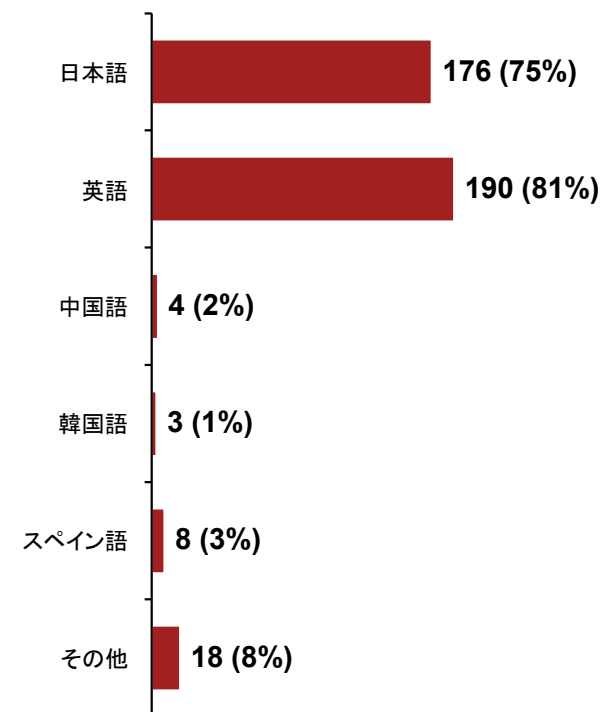
**Q4: 通訳案内士資格の取得状況について教えてください。**  
(母数:n=236、複数選択)



**Q5: 通訳案内士以外にガイド業に関連する資格を持っていますか。**  
(母数:n=236、単一選択)



**Q6: ガイドとしての対応言語について教えてください。**  
(母数:n=236、複数選択)



## ガイドとして活動を開始しようとしたきっかけや動機

- 活動を開始した動機としては、地元・地域の魅力を発信し、自分自身も理解を深めたいという意見が多く、次いで語学力を活かしたい、日本の文化・歴史を発信したい、海外の人と交流したいという意見が目立った

Q7:ガイドとして活動を開始しようとしたきっかけや動機を教えてください。

(母数:n=236、自由記述)

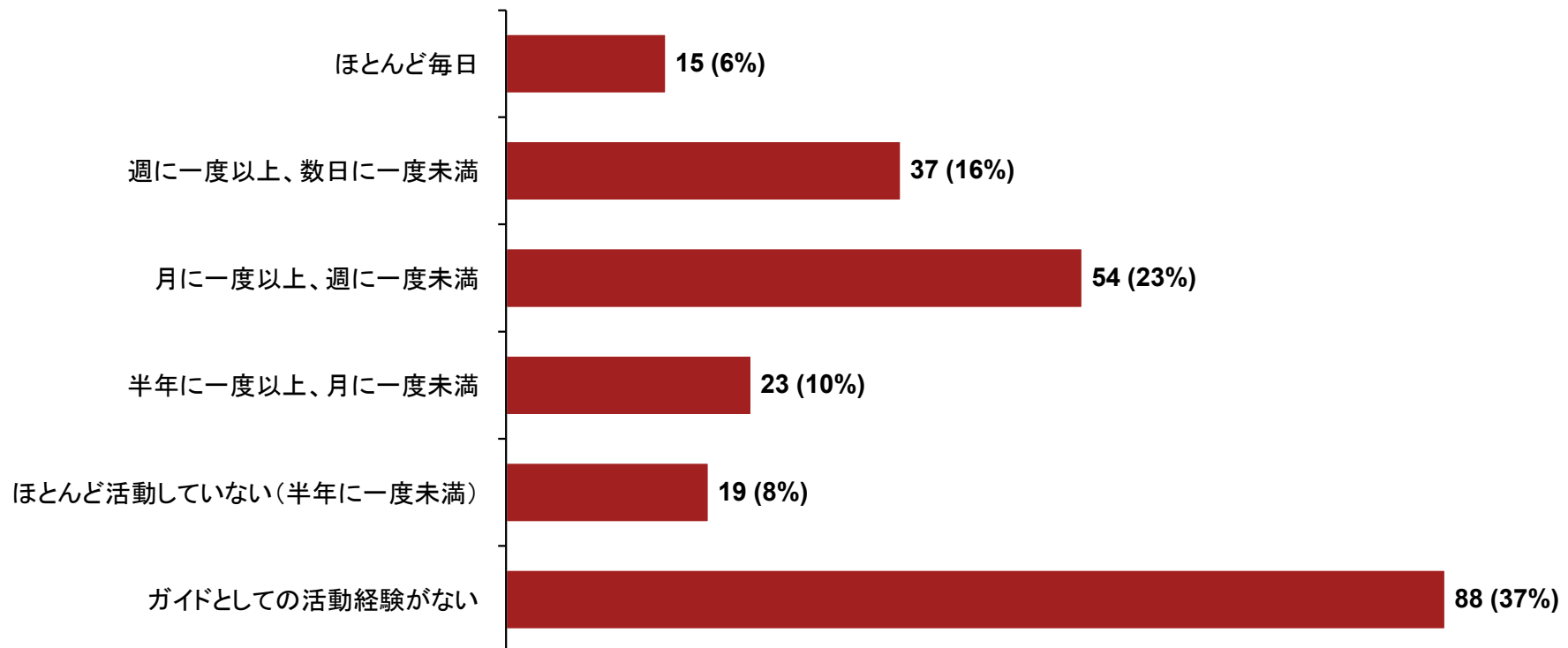
分類	件数*	回答例
地元・地域の魅力を伝えたい、理解を深めたい (地域貢献・地方活性化)	90	「インバウンドのお客様が金沢には多く金沢の魅力を紹介したい」
英語・語学力を活かしたい／向上させたい	64	「(前略)実際に英語やスペイン語を使う場面に遭遇したことから、外国語のスキルを磨いて、金沢の文化などを外客に紹介する事を仕事にしたいと思った」
日本文化・歴史を発信したい	40	「アメリカに住んでいる間に日本の文化や習慣についていろいろ聞かれたため、自分で勉強しているうちに興味が湧き、(以下省略)」
海外の人との交流・国際交流が好き	31	「海外の人たちとの交流が好きで、英語力向上にも繋がると考えたから」
旅行・観光業への興味・過去の業界経験	28	「小さい頃の海外旅行で何回か出会った現地ガイドの方々の話に感動したから(以下省略)」
ゲストの喜び・おもてなしの喜び	25	「(前略)日本に来る外国人の方に良い日本の印象を持って帰って欲しいので」
自己研鑽・新しい挑戦	22	「英語の上達、話術の上達」
海外(留学・駐在等)での経験をもとに	20	「20代の時にオーストラリアでの9ヶ月の滞在中に、ホストファミリーや現地の方々にとっても良くして頂いたおかげで 一生の大切な思い出ができましたので、そのお返しができたらと思い(以下省略)」
仕事上の必要性・業務関連	18	「タクシー業務(観光タクシー)で行っている」
自然・アウトドアの魅力を伝えたい	17	「スキューバダイビングインストラクターとして石垣島に来て、海や自然の素晴らしさを知り、もっと知ってもらいたい」

\*自由記述回答を内容に基づき分類している。1つの回答が複数の分類に該当する場合があるため、件数の合計は回答者数と一致しない

## ガイドとしての活動頻度

- ガイドとしての活動経験がない人が約37%で最も大きな割合を占めており、活動している人の中では月に一度以上、週に一度未満の活動頻度がボリュームゾーンである

Q8: 現在のガイドとしての活動頻度について教えてください。  
(母数: n=236、単一選択)



## ガイドとして活動していない理由

- 前問で「ガイドとしての活動経験がない」と回答した人について、活動していない理由は大きく「時間的制約（本業との両立）」と「準備段階でまだ始まっていない」の2つが特に多かった。加えて「きっかけ・機会がなかった」「スキルへの自信不足」「始め方がわからない」などが続いた

Q9:ガイドとして活動していない理由を教えてください。

(母数:n=85、自由記述)

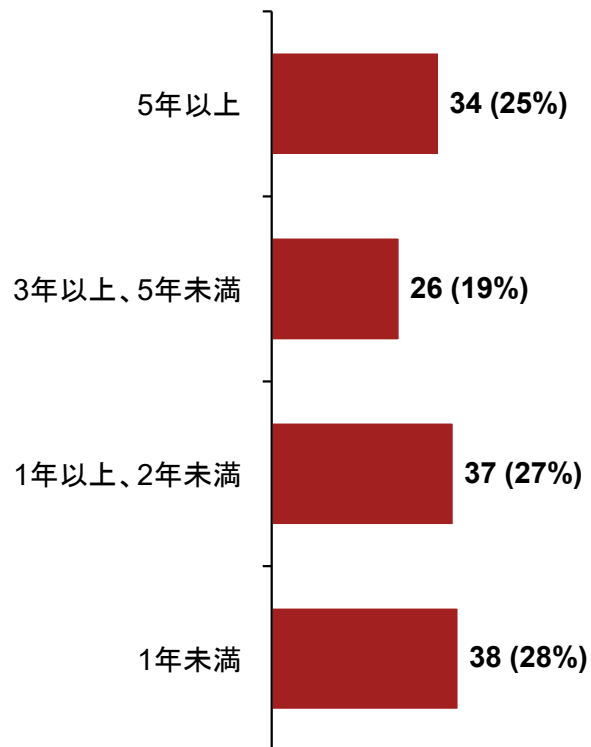
分類	件数*	回答例
本業・他の仕事があり時間が取れない	23	「正社員勤務で副業不可」「現在の仕事がシフト勤務で、なかなか時間が取れない」
研修中・準備中・これから始める段階	18	「まだ研修中のため」「まだ採用されて間もないので、登録が済んだ後に活動を開始する予定」
きっかけ・機会がなかった	14	「機会がなかった」「きっかけがなかった」
スキル・経験不足で自信がない	14	「志して間もないこと、それにより研修や経験が少なく自信が持てないこと」
興味を持ち始めたばかり	8	「最近募集をみて応募したから」
始め方・入り口がわからない	5	「もともと興味はあったが、どういうお仕事からトライしたらよいのか入り口がわからなかった」
資格を持っていない	5	「まだ資格を持っていない」「資格がなくてもガイドができると知らなかったから」
ガイドが本業・本職ではない	5	「ガイドが生業ではない」「全く違うキャリアだったため」

\*自由記述回答を内容に基づき分類している。1つの回答が複数の分類に該当する場合があるため、件数の合計は回答者数と一致しない

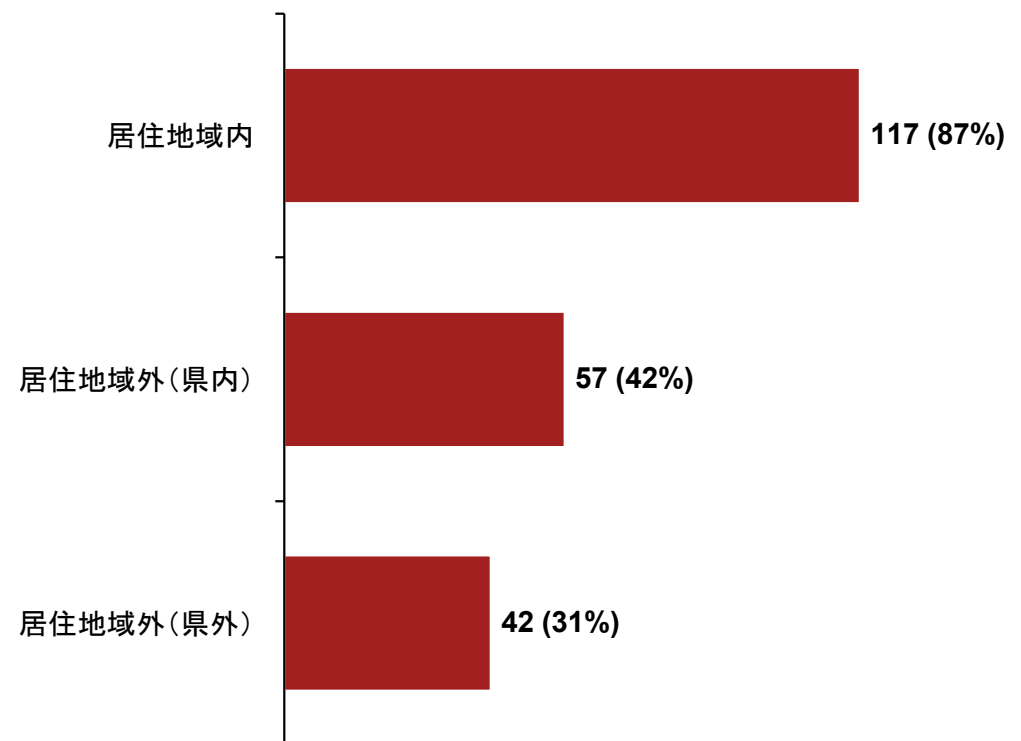
## ガイドとしての活動歴、活動範囲

- ガイドとしての活動歴は、1年未満から5年以上まで幅広く分布している
- 居住地域内でガイドをしている人が約87%を占めている一方、居住地域外でも活動している人は県内で約42%、県外でも約31%と一定数存在する

Q10:ガイドとしての活動歴を教えてください。  
(母数:n=135、単一選択)



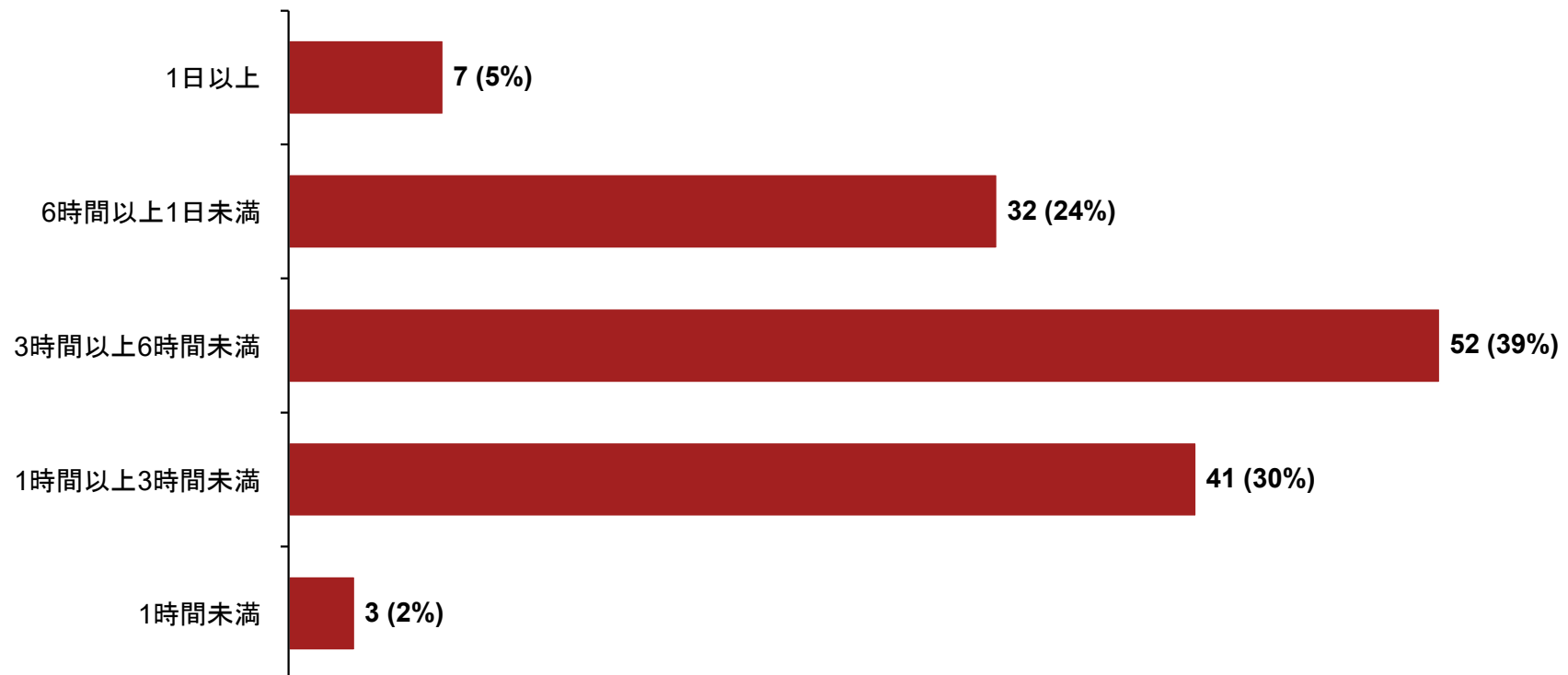
Q11:ガイドとしての活動範囲について教えてください。  
(母数:n=135、複数選択)



## 1回の稼働あたりの所要時間

- ツアー1回あたりの所要時間は、3時間以上6時間未満が約39%で最も多く、次いで1時間以上3時間未満が約30%となっている

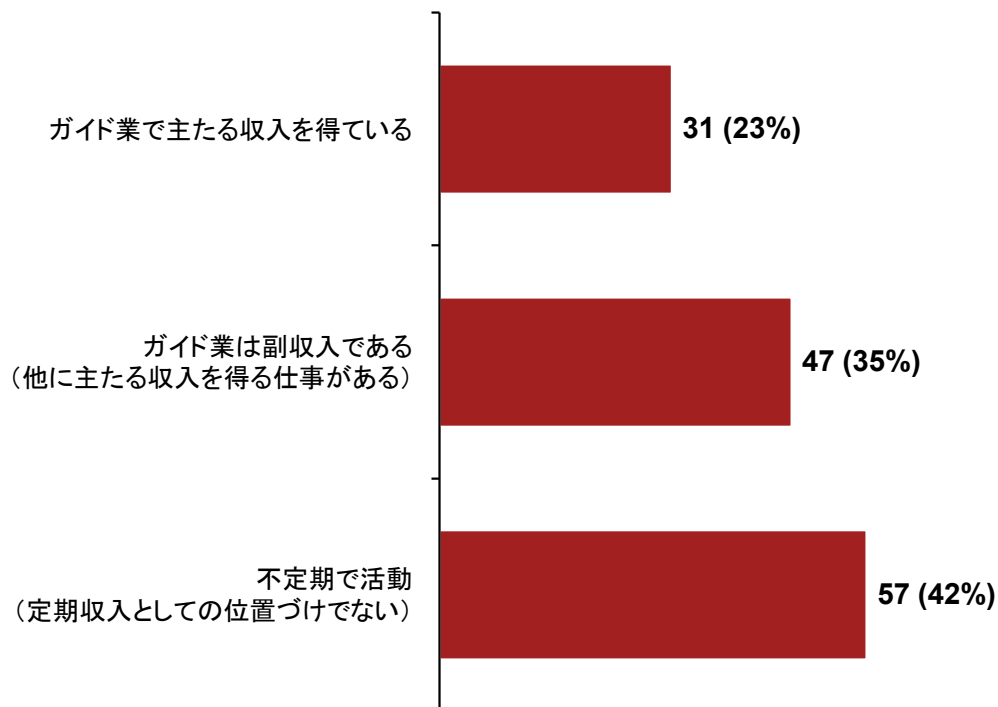
Q12: 1回の稼働あたりの所要時間(ツアーを催行している時間)の目安を教えてください。  
(母数:n=135、単一選択)



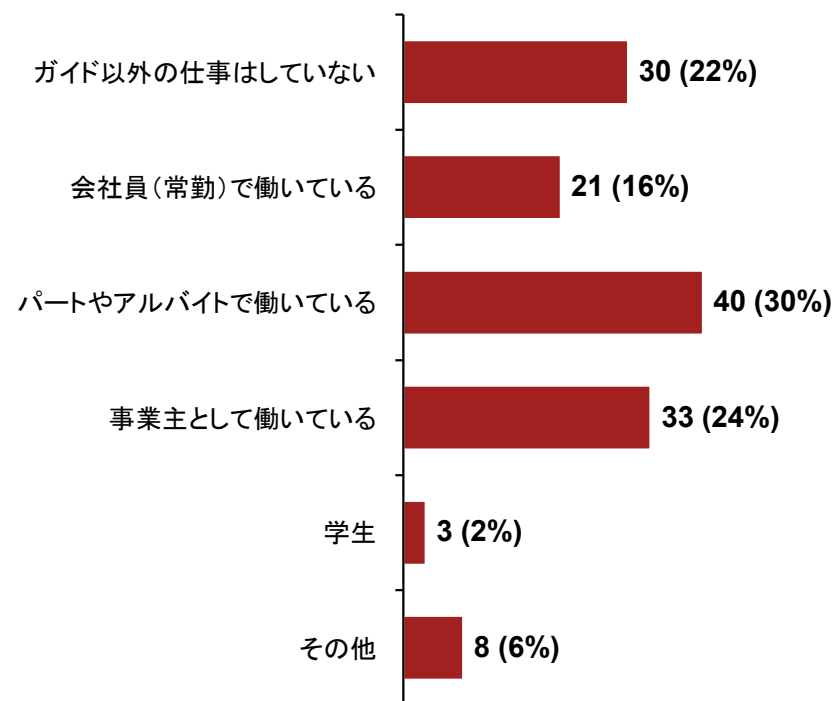
## ガイド業の位置づけ、ガイド以外の仕事

- ガイドによる収入の位置づけは、定期収入として位置づけていない人が約42%で最も多く、次いで副収入としている人が約35%、生計を立てている人が約23%となっている
- ガイド以外に仕事をしている人のうち、パート・アルバイトが最も多く約30%を占めている

Q13: 現在の生活におけるガイド業の位置づけを教えてください。  
(母数:n=135、単一選択)



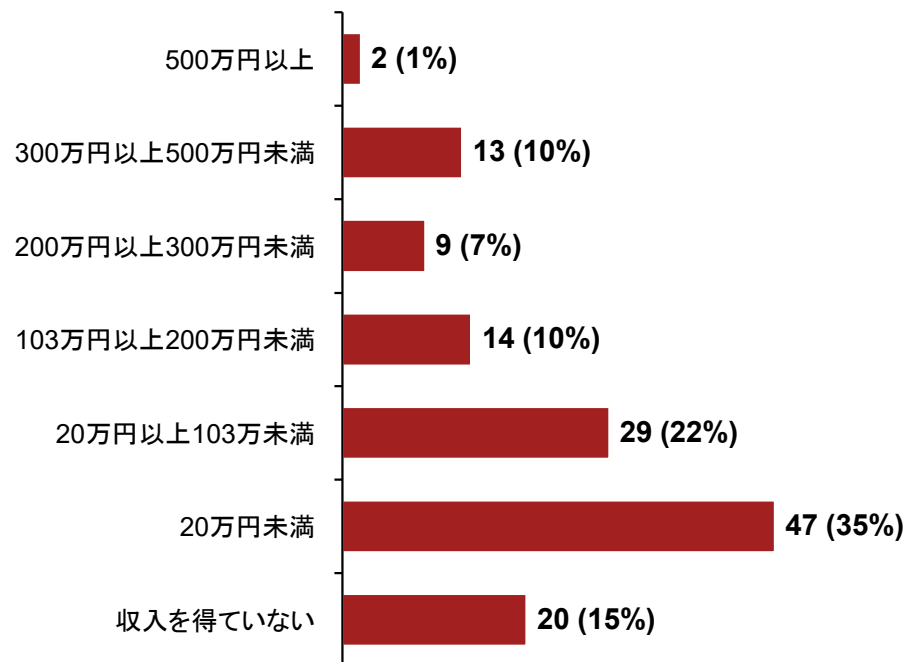
Q14: ガイド以外に仕事をしていますか。  
(母数:n=135、単一選択)



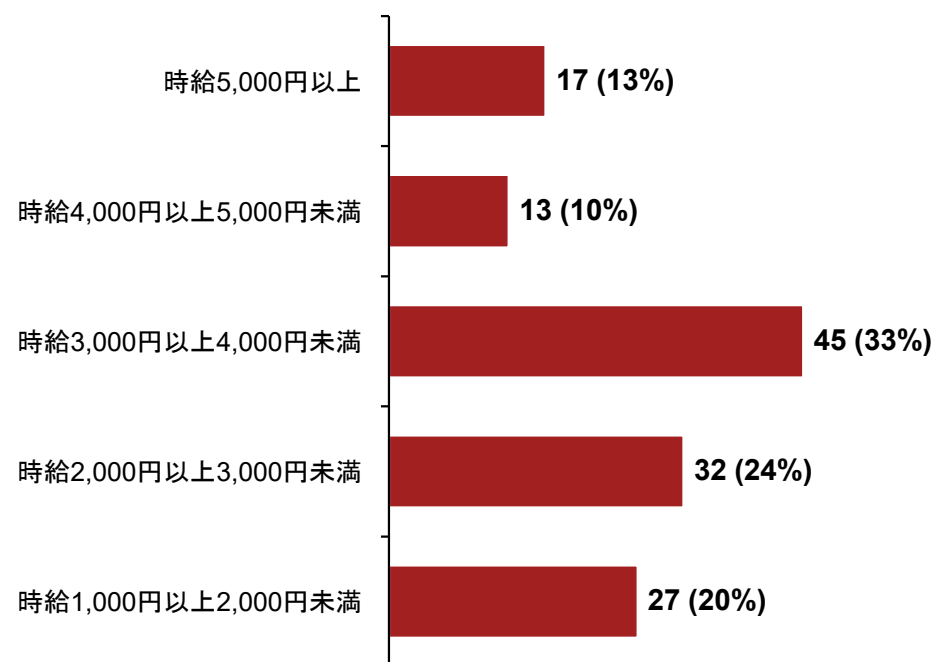
## ガイドとしての年収、ガイドの時給

- ガイドとしての年収は、20万円未満が約35%で最も多く、103万円以上を得ている人は約28%にとどまっている
- ガイドの際の時給は、3,000円以上4,000円未満が約33%で最も多い

Q15: ガイドとしての直近の年収を教えてください。  
(母数: n=134、単一選択)



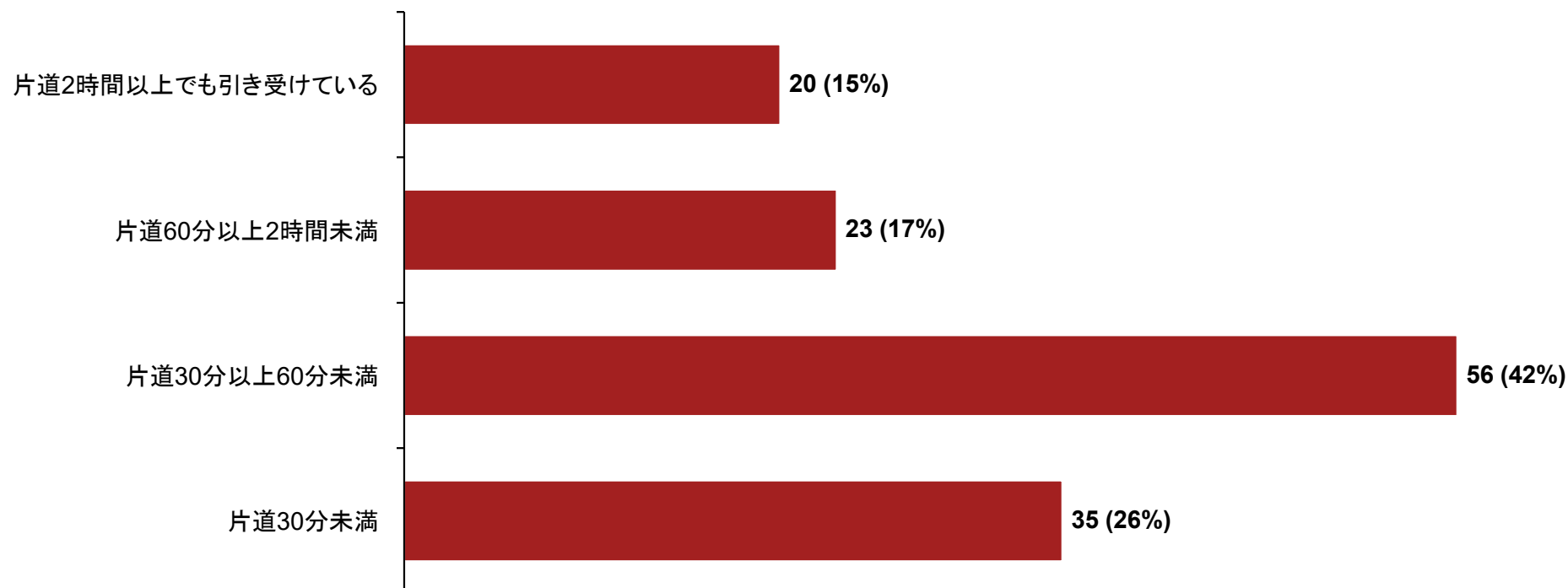
Q16: 現在ご自身がガイドをされる際の時給を教えてください。※時給換算でない場合、1ツアー催行あたりの金額を稼働時間で割り戻した金額をお答えください  
(母数: n=134、単一選択)



## 自宅からのガイドの範囲(交通費が支給される場合)

- 交通費が支給される場合にガイドとして活動している範囲は、自宅から片道30分以上60分未満が約42%で最も多く、次いで片道30分未満が約26%、片道60分以上かけている人も約32%と一定数存在する

Q17: 交通費が支給される場合(自己負担でない場合)、ご自宅からどのくらいの範囲でガイドを行っていますか。  
(母数:n=134、単一選択)

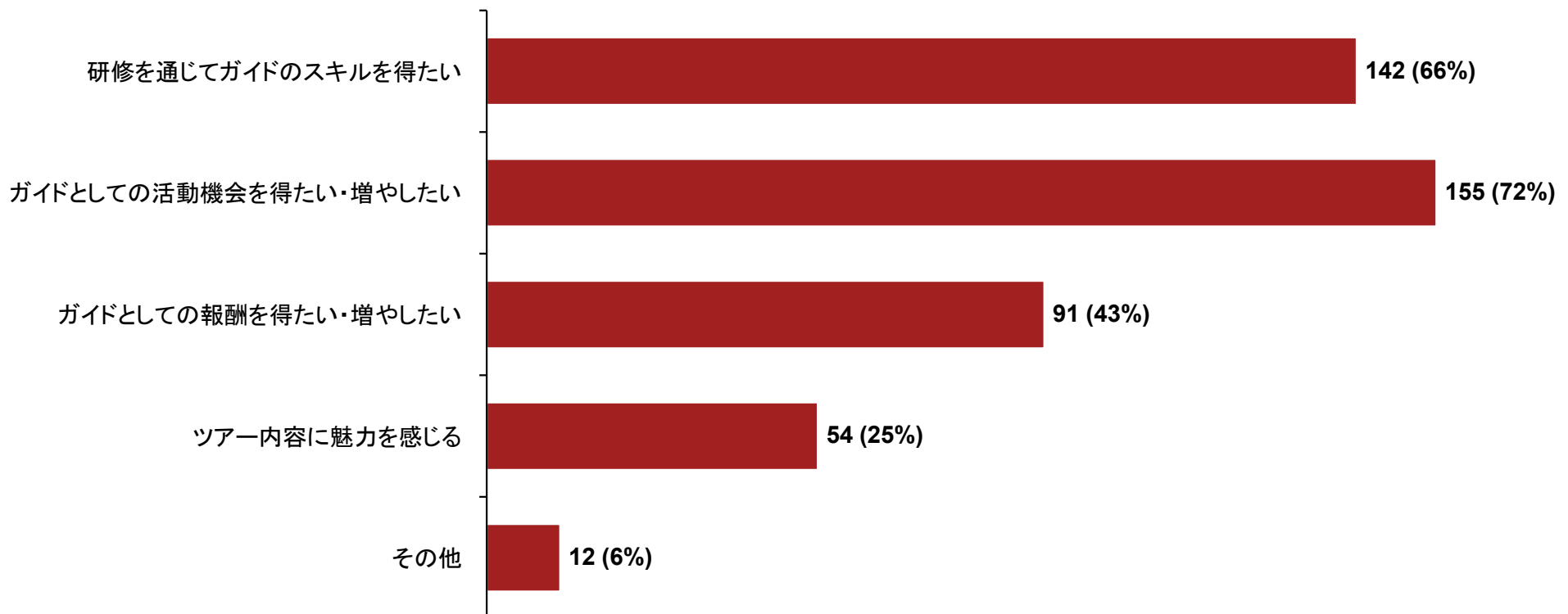


## 本事業でガイドとして応募した理由

- 本事業でガイドとして応募した理由は、ガイドとしての活動機会を得たい・増やしたいと回答した人が約72%で最も多く、次いで研修を通じてガイドのスキルを得たいと回答した人が約66%となっている

Q18: 本事業でガイドとして応募された理由を教えてください。

(母数:n=214、複数選択)

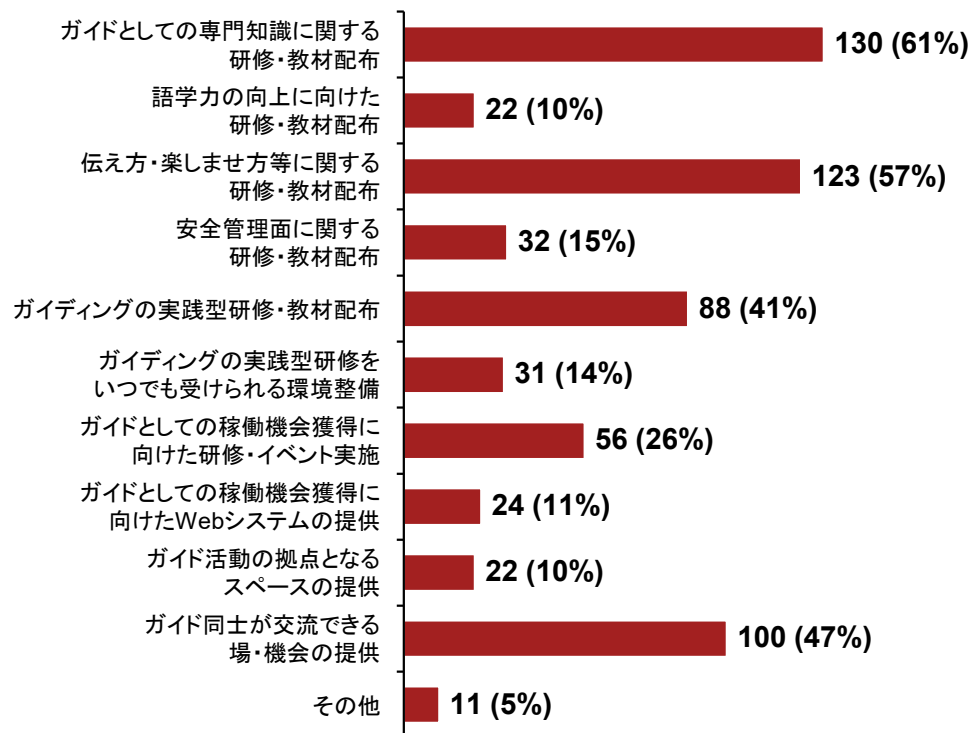


## 本事業におけるガイド実施に向けた支援・フォローの中でよかったこと、あればよかったこと

- ガイド実施に向けた支援・フォローの中でよかったこととして、ガイドとしての専門知識に関する研修や教材の配布(約61%)、伝え方・楽しませ方等に関する研修や教材の配布(約57%)が上位を占めている
- 一方、あればよかったものとしては、各種研修・教材がそれぞれ約30%の回答を集めている

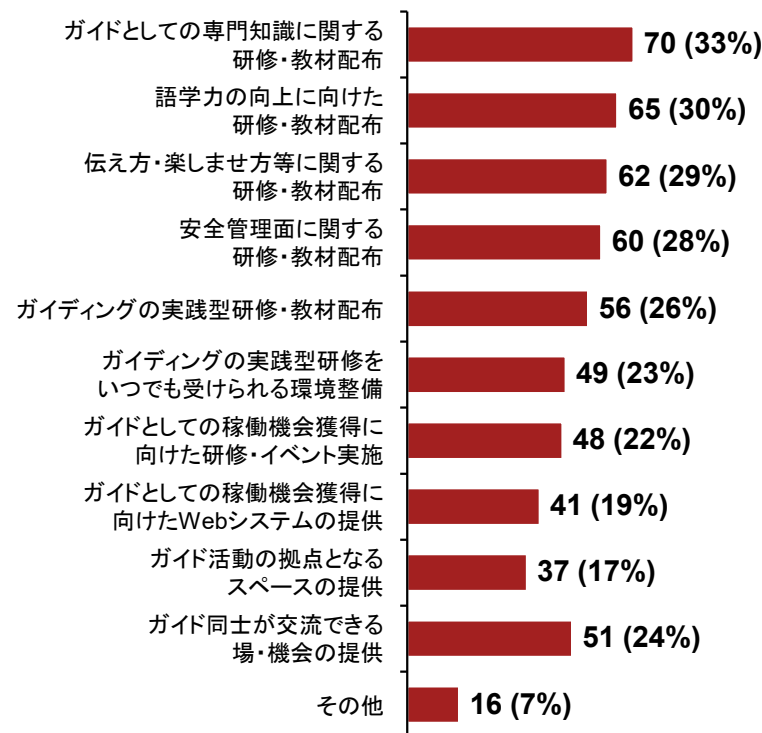
Q19: 本事業におけるガイド実施に向けた支援・フォローの中でよかったこと(ガイド実践に役立ったこと)を教えてください。

(母数:n=214、複数選択)



Q20: 本事業におけるガイド実施に向けた支援・フォローとしてあればよかったことがあれば教えてください。

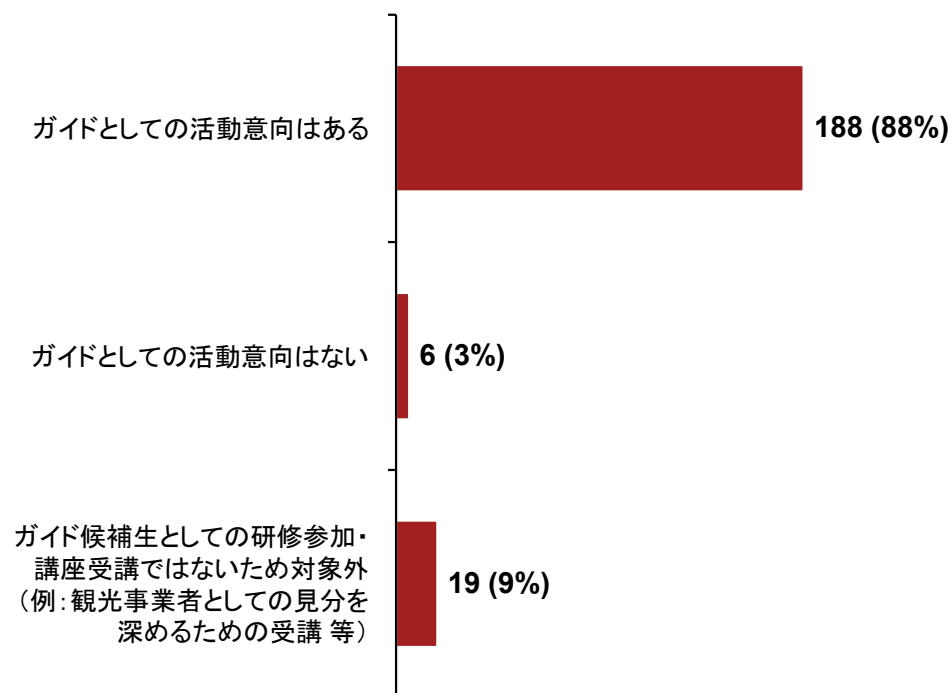
(母数:n=214、複数選択)



## 今後のガイドとしての活動意向、活動意向がない理由

- 今後ガイドとして活動する意向は「ある」が約88%と大多数を占め、意向なしは約3%にとどまっている。活動意向がない方は、本業との兼ね合いで活動時間が限られることや、副業規定などを主な理由として挙げている

Q21: 今後のガイドとしての活動意向を教えてください。 Q22: 活動意向がない理由を教えてください。  
 (母数:n=213、単一選択) (母数:n=6、自由記述)



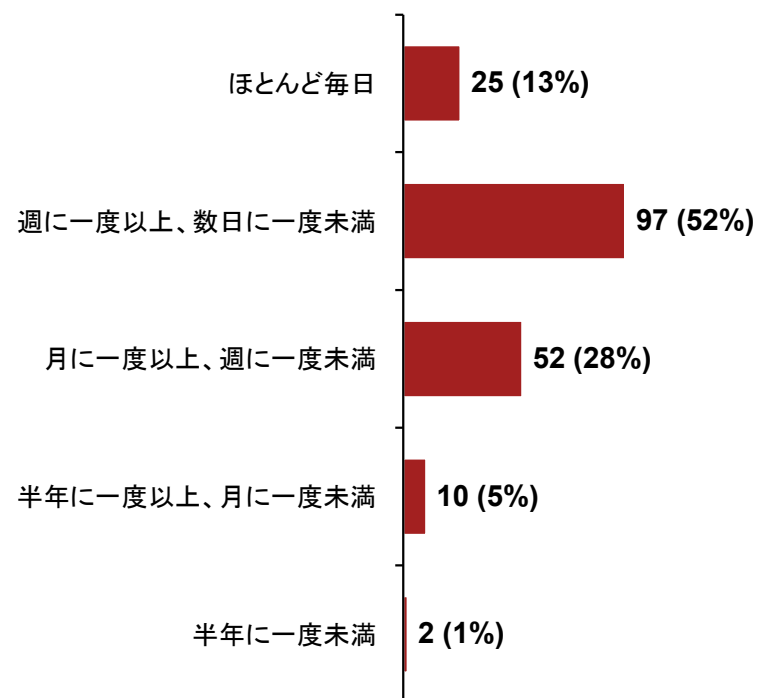
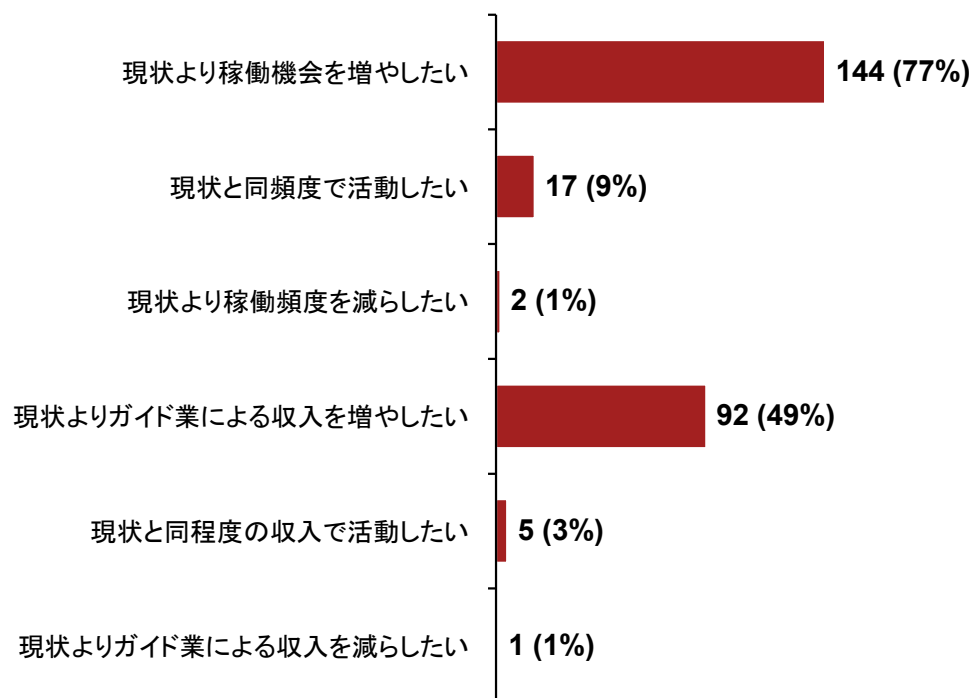
回答例
時間がない 個人事業者としては実力・経験はないので
副業規定に反する恐れがあるため。
別の仕事を持っており、そちらでもかなり気遣う業務内容なので、楽しさを伝えるだけではなく、緊急事態対応や食事制限の配慮など気遣いが多い報酬ガイドは自分には無理だと感じた。自分の知り合いのためのグッドウィルガイドとしてなら活動したいと思った。

## 今後の活動頻度・収入に関する希望、ガイドとしての理想的な活動頻度

- 今後については、稼働機会や収入を現状より増やしたいと考える人が多く、特に稼働機会の増加を希望する人が約77%と多い。一方で、理想とする活動頻度は週に一度以上、数日に一度未満が約52%と最多で、ほとんど毎日の稼働を望む層は約13%と限定的である

Q23: 今後の活動頻度・収入に関する希望と一致するものを選択してください。  
(母数:n=186、複数選択)

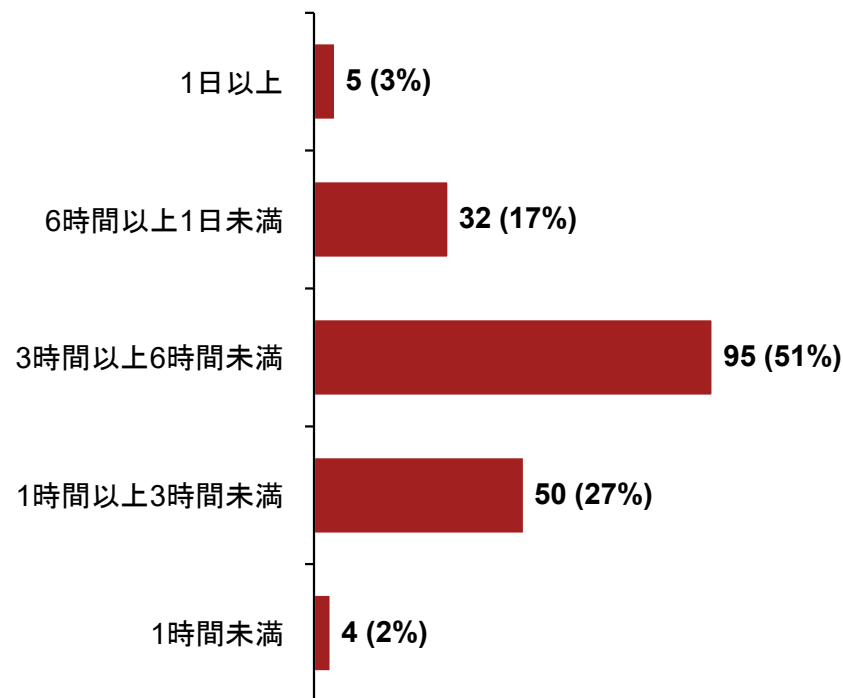
Q24: ガイドとしての理想的な活動頻度を教えてください。  
(母数:n=186、単一選択)



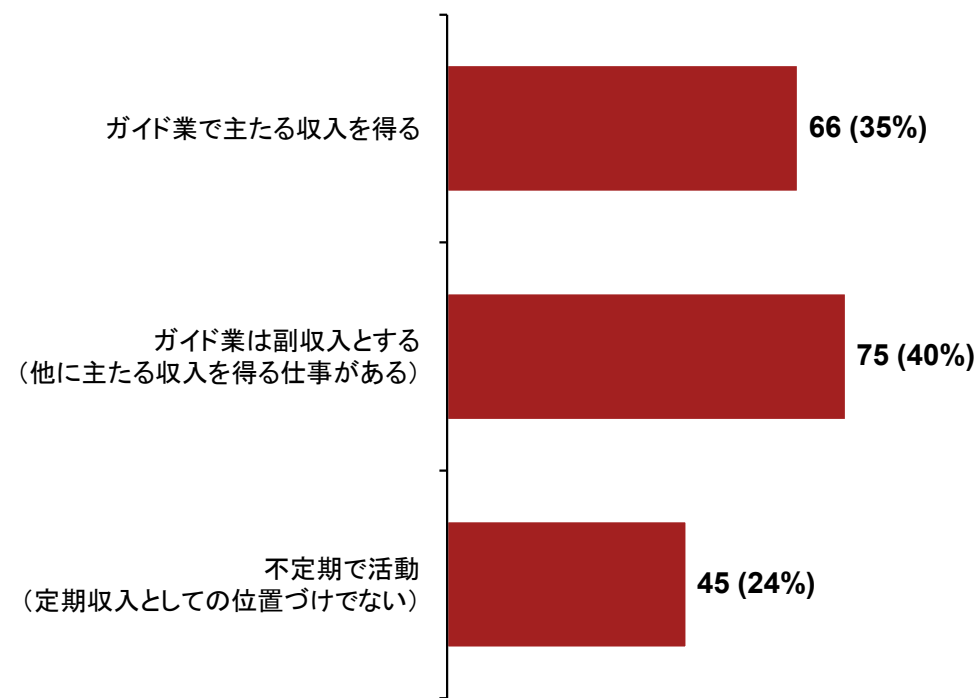
## 1回の稼働あたりの理想的な所要時間、 生活におけるガイド業の理想的な位置づけ

- 1回あたりの理想的な稼働時間は「3時間以上6時間未満」が約51%と過半数を占めており、半日程度を想定する層が中心となっている。一方で、ガイド業の位置づけについては、副収入あるいは不定期収入として副業の位置づけとする人が全体の約3分の2を占める

Q25: 1回の稼働あたりの理想的な所要時間(ツアーを催行している時間)を教えてください。  
(母数:n=186、単一選択)



Q26: 生活におけるガイド業の理想的な位置づけを教えてください。  
(母数:n=186、単一選択)

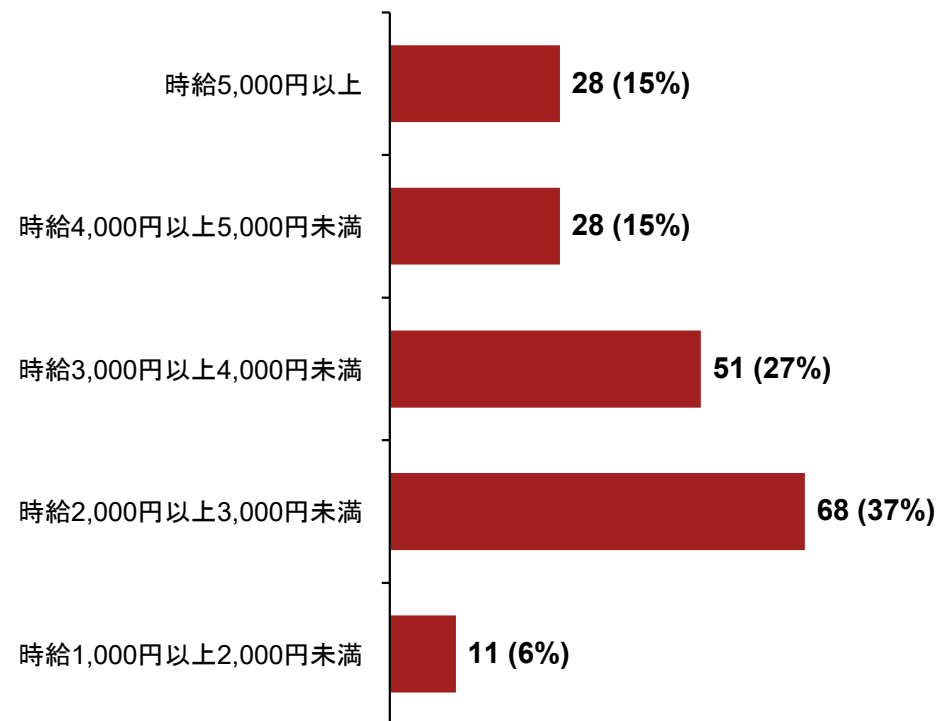
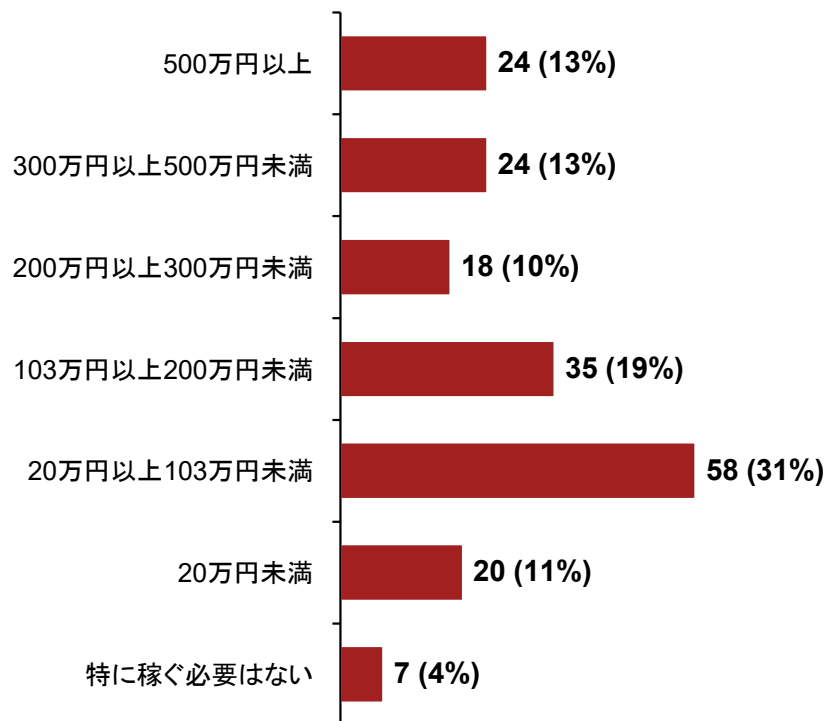


## ガイド業における理想の年収、時給

- 理想とする年収は、「20万円以上103万円未満」を中心に幅広く分布しており、高収入を目指す層と、一定水準を副収入として確保したい層の両方が存在する。また、適切だと考える時給は「2,000円以上4,000円未満」が約64%と最も多い

Q27:ガイド業における理想の年収を教えてください。  
(母数:n=186、単一選択)

Q28:ご自身がガイドをする際に適切な時給はいくらだと思いますか。  
(母数:n=186、単一選択)

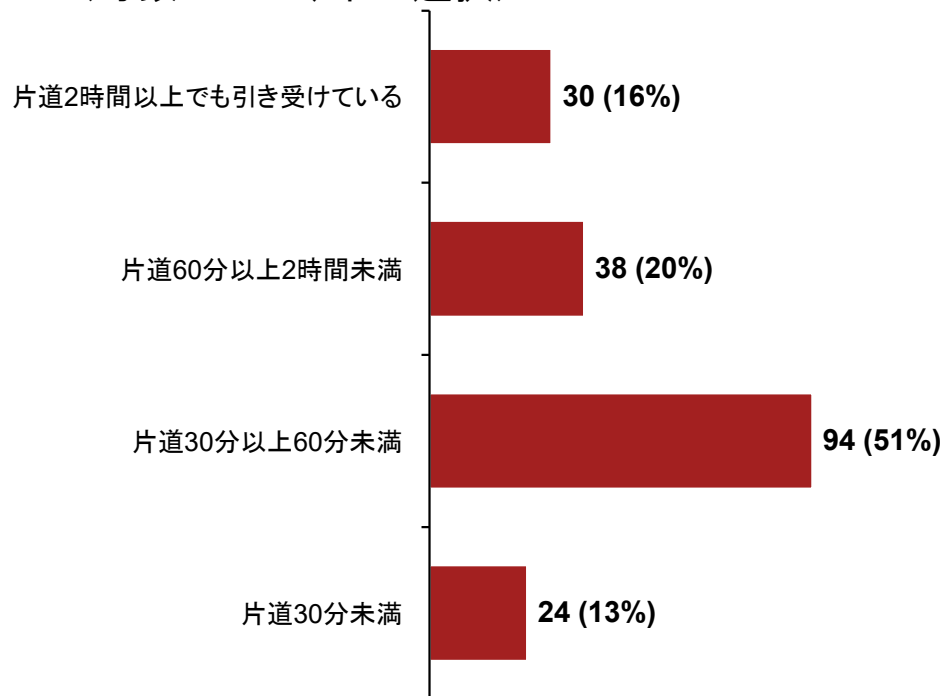


## ガイドを引き受けようと思える自宅からの範囲、 今後目指す活動範囲

- 交通費が支給される場合でも、引き受け可能な範囲は「片道30分以上60分未満」が約51%と過半数を占めており、過度に広域な移動を前提としない傾向が見られる。今後目指す活動範囲についても「県内・近隣県内」での活動を想定する層が約51%と過半数を占め、地域に根ざしたガイド活動を志向する人が多い

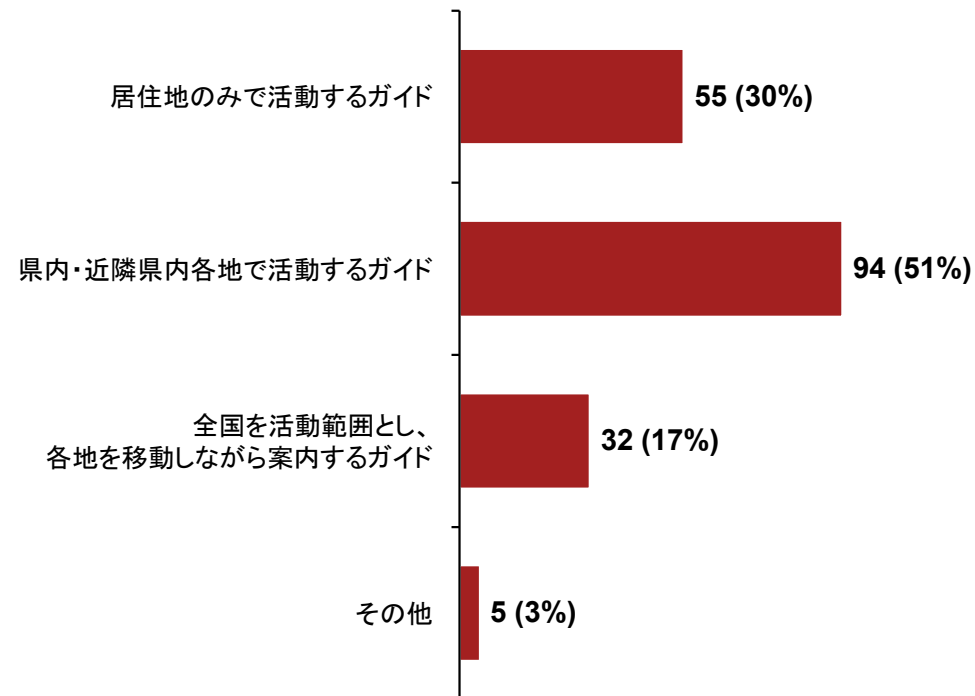
Q29: 交通費が支給される場合(自己負担でない場合)、ガイドを引き受けようと思えるご自宅からの範囲はどの程度ですか。

(母数:n=186、単一選択)



Q30: 今後目指す活動範囲について最も近いものを選択ください。

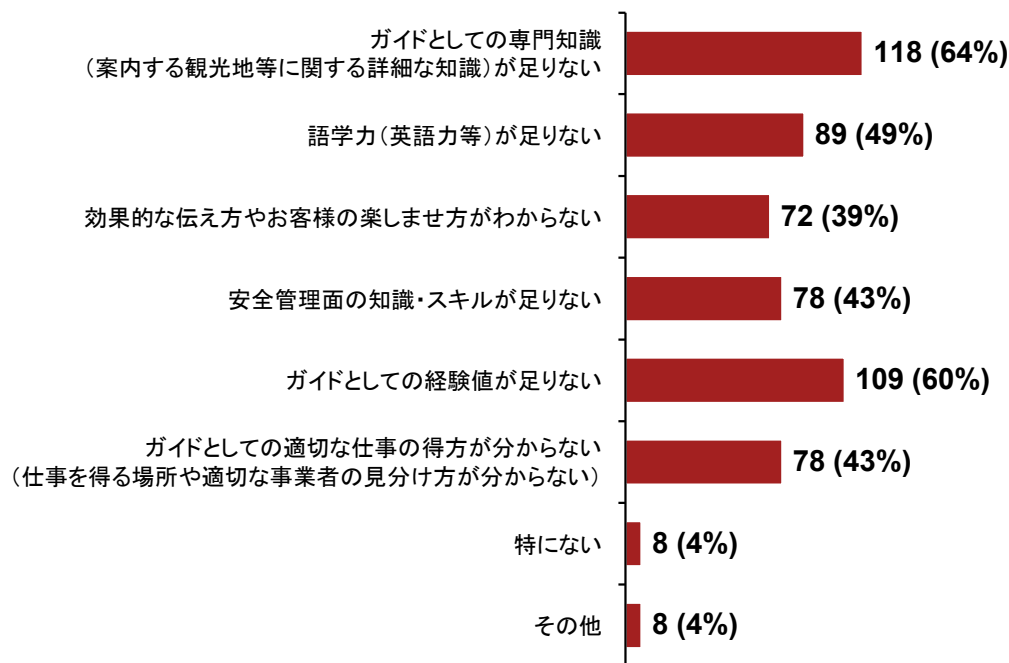
(母数:n=186、単一選択)



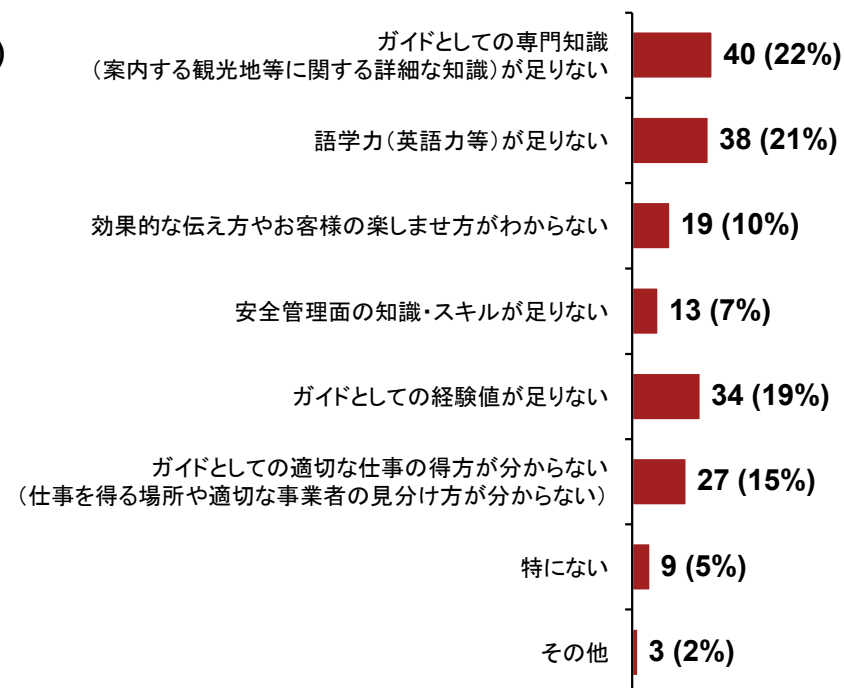
## ガイドをするにあたり不安なこと、最も不安なこと

- ガイドをするにあたっての不安としては、ガイドとしての専門知識(案内対象に関する知識)の不足が約64%と最も多く、次いでガイドとしての経験値不足、語学力(英語力等)の不足が続く。最も不安な点としても同様の3点が挙げられる

Q31:ガイドをするにあたり不安なことは何ですか。  
(母数:n=183、複数選択)



Q32:前問で選択いただいたもののうち、最も不安なことは何ですか。  
(母数:n=183、単一選択)



## あったらよいと思うガイドをサポートする機能・体制・制度

- ガイドが求めているものとして多かったのは、研修などの学び続けられる仕組み、ガイド同士のネットワークや相談窓口などの孤立しないためのつながり、研修から仕事への橋渡しの3つである。加えて、保険・安全管理など、安心して現場に立てるセーフティネットの整備も重要なテーマとなっている

Q33: その他、ガイドをサポートする機能や体制、制度などあったらよいと思うものがあれば教えてください。  
(母数:n=182、自由記述)

分類	件数*	回答例
研修・スキルアップ(継続的・段階的・実地研修)	61	「レベル1の基礎的なガイド研修だけでなく、レベル2、レベル3のガイド研修の機会が欲しい」
情報共有プラットフォーム・ツール・資料提供	26	「効果的なスクリプトを共有できたらいい。ノウハウをシェアしてもらいたい」
ガイド同士の交流・ネットワーク	25	「ガイドが急に何らかの理由で都合がつかなくなった時、お互いをサポートし合えるネットワークがあるといい」
マッチング・仕事機会の確保	24	「企業とのマッチングイベントがすごく良かった。また年に何回かこのような機会があると嬉しい」
制度・資格・処遇改善	17	「ガイドの稼働や収入の保障につながる制度がもっと整備されればいい」
保険・安全管理・緊急対応	14	「ガイドプログラム販売時に担当ガイドの為に保険を付けてほしい」
語学力向上(英語・多言語対応)	10	「オンデマンド視聴などができる学習教材や、英会話レッスンなどを研修に盛り込んでいただけたらありがたい」
メンター・相談窓口	10	「ガイドのメンター制度があるといい」
地域振興・観光資源開発	5	「現在インバウンドが来ていない地域にも来てもらえるようにしたい。有名観光地以外での集客のサポートなど」
特になし・わからない	27	「特になし」「わからない」

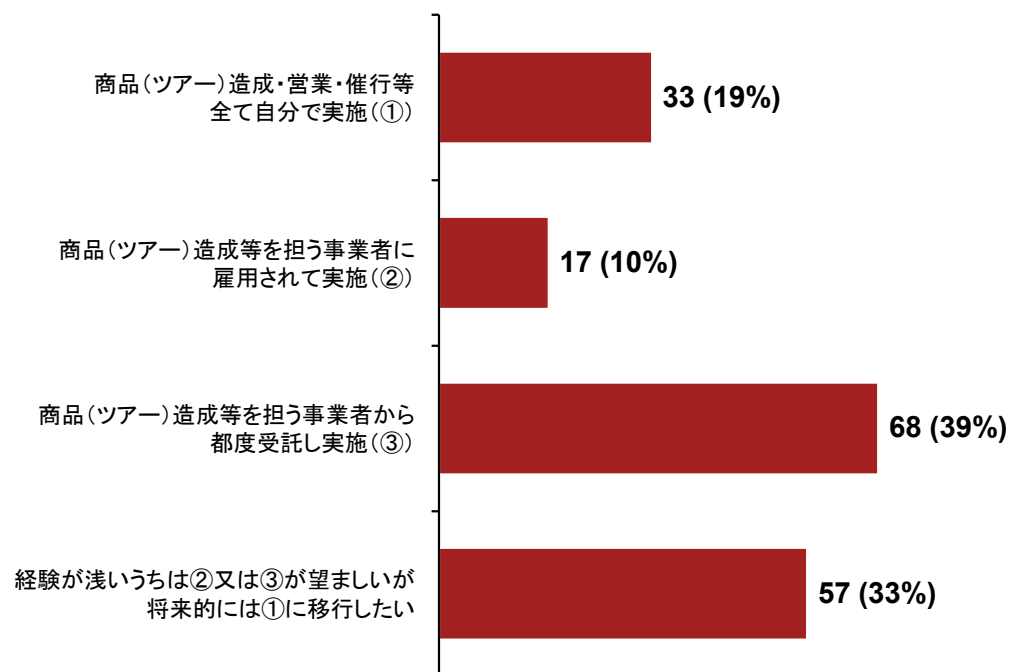
\*自由記述回答を内容に基づき分類している。1つの回答が複数の分類に該当する場合があるため、件数の合計は回答者数と一致しない

## 自身がガイドする際の体制、流入経路

- 希望する体制としては、商品造成等を事業者から都度委託して実施することを希望する人が約39%と最も多く、一方で、将来的には造成から催行まで全て自分で実施したいと回答した人も約33%と一定数存在する。自ら実施する場合は、自社サイト、OTA、旅行会社・DMCのどれも有効な流入経路として考えられている

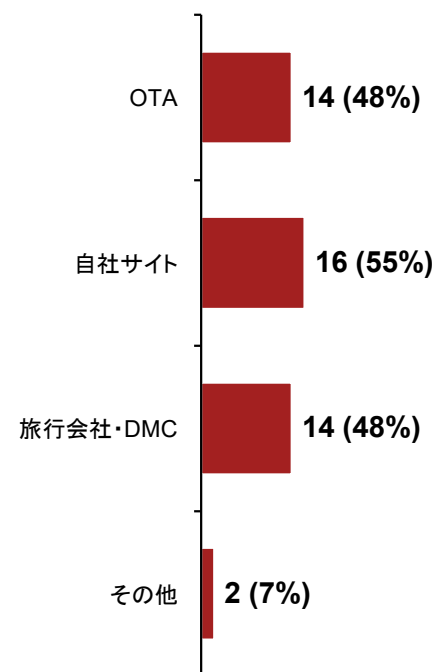
Q34:ご自身がガイドをする際、どのような体制を希望されますか。

(母数:n=175、単一選択)



Q35:ご自身が商品(ツアー)造成・営業・催行等全て自分で実施する場合の流入経路を教えてください。

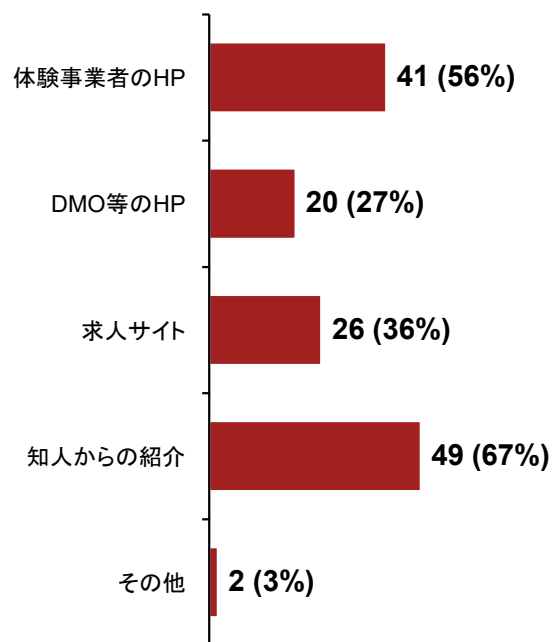
(母数:n=29、複数選択)



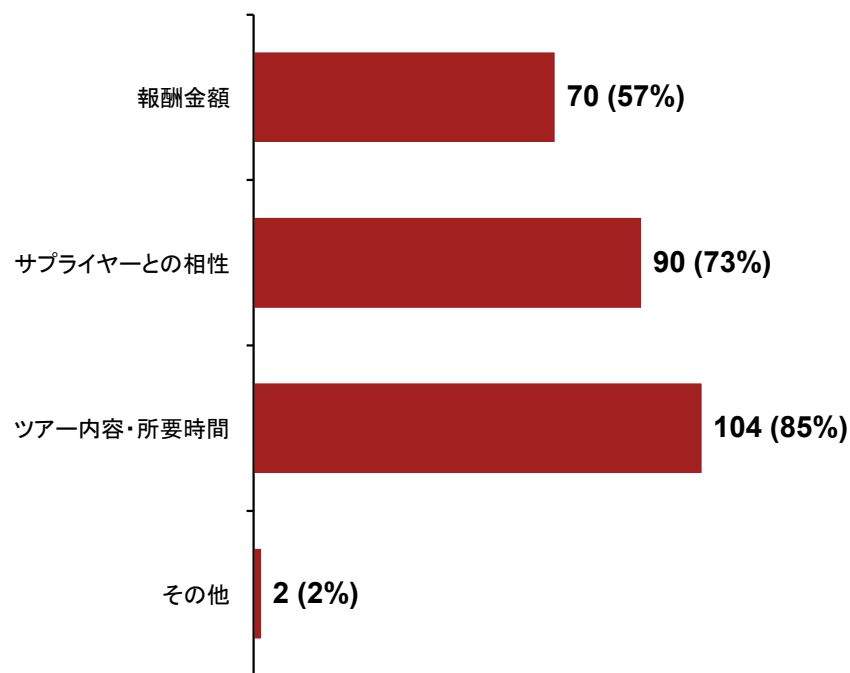
## 新規受託先となる体験事業者を探す場合に用いる手段、 観光事業者とマッチングする時に重要なこと

- 新規の体験事業者を探す手段としては、知人からの紹介が約67%と最多、体験事業者のHPが約56%と次いで多く、既存のつながりや一次情報が重視される傾向にある。マッチング時に重要な点としては、ツアー内容・所要時間を約85%の人が選択しており、極めて重要な考慮要素であることが分かる

Q36: 新規受託先となる体験事業者を探される場合に用いる手段を教えてください。  
(母数:n=73、複数選択)



Q37: 観光事業者(サプライヤー)とマッチングされる時に重要なことは何ですか。  
(母数:n=123、複数選択)



## 今後目指すガイド像

- ・ ゲストを楽しませる・おもてなしのガイド、知識・文化・歴史を深く伝えるガイド、地域の魅力を発信するガイドの3つが主な今後目指すガイド像として挙げられた。一方で、個性を活かしたガイドや富裕層対応など個別の志向も見られた

Q38: 今後目指すガイド像を教えてください。

(母数:n=173、自由記述)

分類	件数*	回答例
ゲストを楽しませる・おもてなしのガイド	67	「知識だけでなくゲストを楽しませられるようなガイド」
知識・文化・歴史を深く伝えるガイド	54	「お客さまに気づき、発見、学びを得ていただくガイド」
地域の魅力を発信するガイド	44	「地域の魅力を発信し、新たな関係人口を構築できるガイド」
お客様対応力・柔軟性の高いガイド	36	「ゲストの急な要望にも出来るだけ応えられるよう、柔軟な考えを持つこと」
リピートされる・記憶に残るガイド	32	「またこの人にガイドしてもらいたいと思ってもらえるガイド」
プロ・ビジネスとしてのキャリア志向	11	「ガイド業一本でやっていけること、一生続けられること」
自分の個性・強みを活かせるガイド	10	「自分の個性を活かせるガイド」「唯一無二のサイクリングガイド」
安全・安心を確保できるガイド	9	「安全面を確保しながら、顧客様の満足度向上を目指す」
まずは経験を積みたい・これから始める	8	「簡単なガイドの仕事からスタートする」
専門領域・富裕層対応ができるガイド	3	「欧米の富裕層の案内」「MICE、技術ツアーのアテンドなど、自分のバックグラウンドの知識と語学力を生かして貢献できる仕事がしたい」
特になし・わからない	2	「特になし」「現状のまま」

\*自由記述回答を内容に基づき分類している。1つの回答が複数の分類に該当する場合があるため、件数の合計は回答者数と一致しない